

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教学Ⅱ	2	後期	必修	いいえ	72

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①本講義は、本学の建学の精神である「感恩奉仕」の精神習得の出口の部分を担当しているため、キリスト教学Ⅰの聖書の学びから発展させ、幅の広い教養を身につけるため、多岐に渡る内容のキリスト教芸術と文学に触れ、視野を広げる授業展開を行った。また、授業以外のチャペルの参加も評価に取り入れ、授業外でキリスト教に触れる体験の機会を設けた。 ②毎回の授業中に記入するポートフォリオでの学びの確認だけでなく、チャペルポートフォリオを導入し、毎回のチャペルのまとめを記入するようにした。 ③後半で行うグループ発表の機会は、学生の関心にあわせて展開し、様々な角度からキリスト教について学びあう事ができた。 ④学期の最後に「感恩奉仕と私」というタイトルでレポートを書き、2年間のキリスト教の学びの集大成をひとつの文章としてまとめる作業を行った。これによって、学生が聖書やキリスト教教育の学びから何をうけとり、卒業していくのが良く見えるようになった。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	授業評価アンケートの結果より、自分なりの目標を達成した、に関しては4.3ポイントであった。到達度の自己評価の平均値は(4.2)。トータルの成績の平均値は約80%以上。チャペルの出席率約85%以上と感想文の内容から、感恩奉仕の価値観を学び、聖書の視点を知り、キリスト教の源泉に触れるという、教育目標はやや達成されたと言える。 また、「感恩奉仕と私」というテーマの学生のレポートの内容から、90%以上の学生が、聖書について、キリスト教について、人生の基盤となるべき学びができたとのことから、全体をとおして教育目標が達成されたと言える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP, カリキュラムマップ上の位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は本学の要となる聖書の内容を学ぶ「キリスト教学Ⅰ」の学びを踏まえ、展開している。聖書の学びを前提としての発展的な学びであるが、全体的に一定の成績を収めていることから、内容的には妥当であると考ええる。 ②DP, 行動目標からみでの内容的妥当性 著名な西洋の文学作品・芸術作品鑑賞を、聖書を土台として考察し、キリスト教に関連するテーマをグループで調査・発表するという行動目標については、昨年同様学生たちが意欲的に取り組み、講義だけでなく、グループでのアクティブラーニング形式を取り入れたため、学生自らで習得した内容も多く、内容的に妥当であったと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価についての平均値は(4.4)であった。一昨年より、チャペルポートフォリオを導入したことは、チャペル出席へのサポートとなった。チャペル出席はキャンパスライフにもあるように、1年間をとおして3分の2の出席を必要としている。キリスト教学がない2年生前期のチャペル出席についてもチャペルポートフォリオを導入し、遠隔であっても出席を促すことができた。 本講義は、キリスト教に興味関心のない学生にも興味をもってもらうことが重要である。授業の質評価において、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が4.4であったが、引き続き、アクティブラーニングの手法を工夫しつつ、学生たちが自ら聖書を開いて、日常生活に応用できるような仕組みを作りたい。また、「ナルニア国ものがたり」を中心に聖書の解き明かしをする本講義については、学生のコメントにあるように、興味関心を持ちつつ学ぶことができているため、引き続き内容を深めていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	①必修科目の位置づけであり、本学の要となる「感恩奉仕」の集大成として学ぶ科目であるが、キリスト教学Ⅰを発展的に展開していく上で、Ⅰでの学びが重要である。Ⅰの復習もⅡでの講義に加えつつ、学生が中心となっていくディスカッションや調査・発表を取り入れ、学生が主体的に授業を展開できるように促している。授業の最後に記入するポートフォリオやチャペル出席に加え、チャペルポートフォリオを導入し、さらに関心あるテーマについてグループで調査・発表し、最後に「感恩奉仕」とは自分にとってどのような意味を持つか、自分自身の内面の変化を洞察していく作業をおこなった。後半ははじめてのオンライン授業となったが、学生の興味関心を損なうことなくグループワークもできたことは、来年にも繋げていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
スポーツ実技	1	通年	選択	いいえ	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は資格取得に必要であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格のいずれかを希望する学生は全員受講している。対象の学年は1年生（通年）であり、今後資格を取得するために、自己の体力について把握することは大切である。また、授業だけではなく卒業後も生涯スポーツとして運動を続けてもらうために、さまざまな競技を行いルール理解や技術習得ができるように工夫した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均は93.9点（S－40、A－7、B－1）である。ほとんどの学生がSまたはAを取得していることから、目標は達成されたと考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「一般教育科目」における「女性と健康」に位置づけられており、資格取得に必要である。受講学生は資格取得を考えているため、受講の意欲は高い。成績評価をみてもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、内容的には妥当であったと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	体力測定を前期の4月と後期の1月に行うことにより、学生自身が1年間の体力の変化を把握できるようにした。また、さまざまな競技においてゲーム形式だけではなく、技術習得のための練習を取り入れ、学生がお互いに教え合うなどの姿が見られた。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。運動の記録を取るよう指導したが、体重や体脂肪率なども測定できる環境が整うのであれば、もっと詳しく自己の体を知ることができると思う。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
文学	1	後期	選択	はい	46

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	現代社会においてなぜ文学を学ばなければならないか、まずそこから学生に解かねばならない。その理由と目的を理解させることから始めた。つまり「文学とは実学である」ことを中心軸に置き、学生自身の生活、選んだ専門分野を重ねて鑑みることによって、日常触れている表現、言葉、歴史、心、歴史、時代性、古典等々の事柄がすべて繋がってゆくものであり生きていく上での自身のアイデンティティと切り離せないものであることがわかるのである。そういったことをベースにして文芸学の諸問題を実例を掲げながら考察するものである。私たちがドラマや映画を見て感動することは即ち自分自身の人生を客観的に眺めていることと「文学」が同じであることであることを学生が実感することがまずは重要である。ここまでが第一の重要点である。そして次によい文学作品の消化である。どう感じるかには正解はないが、なぜそう感じたかが、最も大切である。そこに時代性を重ねて鑑みることによって古典を学ぶことができる。愛情と一口に言っても時代によっては表現もちがう、言葉も異なる。ましてや国によっても異なる。太陽の色まで理解の仕方で異なる…そういったことをどう理解し、どう考察するのか。だから、文学は実学であるというのである。私の講義においては学生は少なくともここまでは理解している。またこの度、前述していることをさらに深めるために「文学と性教育」という新しいテーマを掲げ、「性」とは「こころざしを持って生きることであり、本来の性教育（欧米）が目指したものは広範囲な人間教育（全人教育）が中心である」ことが大変重要であるので、若い世代が新たな価値観を形成してゆく一助が性教育の本来の目的であるという説明を行った。この様に正しく理解して初めて正しい表現が出来ることを教示したが、一部の学生に伝わらない部分があったようで、今後は説明を分かりやすく改善しようと思う。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	講義の回を重ねるごとに、学生からの感想文も文学に対する関心が増し、実学であることの理解も整い、物事の捉え方や視点がしっかりしてきていることが如実にわかるようになった。とても良い傾向であると同時に、指導の仕方を密にすることの重要さも思い知った。これからも講義の方法は今まで通り進めてゆくつもりである。私自身も意欲が増している次第である。数字にするならば、85%である。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	カリキュラムマップ等々における本科目の位置づけから見た内容妥当性については、良かったようである。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	リモート講義ではあったが学生たちの集中は途切れることなく反応はかなり良かったようである。コロナのために実現できなかったこともあるが、いつになるかわからない終息に悩むのではなく、創意工夫して講義の内容を斬新なものに展開してゆきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	達成状況の総括的評価としては、85%で、かなり良かったと認識している。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	森 敦嗣

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
日本国憲法	1	後期	選択	いいえ	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①本科目は選択科目ではあるが、保育士資格を目指すものにとって日本国憲法は必修である。しかし、保育士を目指すものにとっては一見関連性がなく、学生たちにも学ぶ意義が見出しにくい科目である。そうしたことも踏まえ1回目の授業では保育士待遇が憲法違反であることを訴えた高校生たちの事例から、日々の生活環境の改善を考える上で憲法を学ぶ意義があることを説明した。さらにアクティブラーニングとして映像を使った模擬裁判を行い、グループで討論させて意見をまとめさせた。 ②普段の生活では聞きなれないような難しい専門用語を学習することが必要なため、毎回配るレジュメの最後に必ず本日の講義のポイントとなる部分をまとめた問題を入れ、毎回の授業最後に学生に解かせることで知識理解を定着させるようにした。 ③後半の授業においては「裁判員制度」に関わる重要な制度である「死刑制度」について、廃止論、継続論それぞれの主張を紹介し、学生たち自身にも制度の賛否について意見を記述させた。 ④映像授業として、裁判員制度の広報映画を見せ、学生たちも将来参加する可能性のある裁判員制度への理解とその重要性を認識させた。さらに模擬裁判を行うための資料映像を使用し学生たちのグループ討論を行う際の参考とした。模擬裁判では各グループに判決用紙を配布し、各グループの判決をどうするか討論を行い、その判決にした理由も協力して書いてもらった。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績平均値ではABクラスが80点、CDクラスが87点であり、ともに、成績不良が原因で単位を落とした学生はいなかった。学生の到達度自己評価に関するアンケートでは、10項目中9項目の平均値が3.8以上、知識理解に関しては平均値4.2であり、本科目DP項目は十分達成されたと言える。例年本講義の課題として挙げられる「コミュニケーションや表現力を高めることができた」の項目は、平均値3.9とこれまでのアンケート結果の中で最も高い数値であった。これは模擬裁判等のアクティブラーニングの効果が表れたと考えられる。 一方で学習量の評価として、授業後の復習に30分以上の学習をした学生の割合が昨年度より若干であるが下回った。授業前の準備に時間をかけた回答も昨年度と同様半数ほどであった。本講義はテキストを使用しないため予習がしづらいのだが、復習に関しては毎回のレジュメにて「今日のまとめ」を設ける等対策を行なっている。次年度は「今日のまとめ」を宿題のような形式として配布し、次の週の授業の冒頭に答え合わせを行うことで、学生たちが復習に時間をかけることができるようにしていきたい。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップ上の位置づけからみても内容的妥当性 本科目は選択科目ではあるが、一般教育科目の一つであり、DP1に関わるものである。本学の保育科の教育目的の一つが豊かな教養と専門知識をもった保育の専門家の育成であるが、本科目はその教育目的からみても内容的には妥当であると考え。 ②DP、行動目標からみでの内容的妥当性 知識理解に関する達成度に関しては、到達度自己評価の平均値が3.9以上であり、前年度より数値は若干下げたものの、全体的な成績は前年度よりも向上したため内容的に妥当性であったと考える。学生が授業の課題以外に具体的に取り組んだ学習として「ニュースをよくみるようこころがけた」「覚えるためにノートをとめた」という回答があった。本講義では必ず1回目の授業で憲法を学習する上でメディアによるニュースを見ておくことの重要性を話している。この回答は学生の方から積極的に時事問題に関心を持つようになったということであり、喜ばしいことであった。 ③まとめ 以上から、本科目の位置づけからみた内容的妥当性には問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の質評価について、今年度はいずれの項目も平均値は4.2以上であり、前年度の数値平均値4.0をさらに上回る評価であった。数年前から行っている映像授業から自分の意見を記述するレポート、模擬裁判によるアクティブラーニング等の学生の関心を高めるための様々な試みが功を奏したと考えられる。今後の課題として学習量の評価が挙げられる。特に復習に時間をかけた学生の方が昨年度より若干下回ったことは反省点である。次年度に向けては、毎回配布するレジュメに講義で行なったことの復習を行う項目を設けるなどして改善をはかりたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	全体的な成績の平均点、知識理解といった学生の到達度自己評価の平均値、授業の質評価のいずれもが過去数年間で最も高い数値であり、今年度は学生の知識形成の達成と授業自体の質を上げるといういずれの課題も十分に達成された。 課題としては学習量の評価に関連した学生の復習時間の向上が挙げられる。この点に関しては毎回配布するレジュメの「今日のまとめ」を宿題形式として自宅で記述してもらい、模擬裁判のグループ討論を授業内だけでなく、次週までの課題として授業外で実施してもらいなどして、復習課題を意識的に取り組ませるなどの試みを行っていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
メディアリテラシー	1	後期	選択	いいえ	45

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	・受講動機は次の通り。①必修科目である52.5%、②資格取得に必要である70.0%、③関心のある内容である15.0%、④単位数を確保する32.5%、⑤GPAをあげる2.5%、⑥友人が履修している7.5%。 ・幼免取得のための選択修科目である。 ・初学者の受講を想定して、テキスト、問題集の指定をした。 ・テキストの内容を理解、定着させるためには例題等による問題演習が不可欠となる科目であるため、コンピュータ操作の手順ならびに理論を解説した後、問題の演習を行う形で進めた。 ・コンピュータ操作の手順ならび理論の解説には、テキスト、授業用に作成したスライド、プリント等を用い、問題の演習には、テキストの例題、問題集を用いた。 ・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された			達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	・定期試験を経ての成績評価は、平均86点／100点であった。再試対象者は0名であった。 ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.0で最も高いスコアであった。 （2）知識を確認、修正したり、新たに得ることができた ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値3.9で最も低いスコアであった。 （9）職業倫理や行動規範（守るべきルールなど）について学ぶことができた					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	・学科のDPの知識理解（DP1）、態度（DP4）、技能表現（DP5）の基礎部分を担う科目として開講している。 ・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	・授業の質評価の5項目についてのスコアは4.0～5.0であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。 ・学習量の評価では、予復習、自発的学習が殆どなされていないことが示唆される。予復習に関する個別具体的指示を行う、および予復習、自発的学習の効果を検証する仕組みを工夫するなどの余地があると思われる。 ・図書館等の利用は、ほぼ行われていなかったが、初学者向けの科目であり、教室における解説・演習で完結するので特段支障はない。ただし、理論が身近な場面で活用されている事例等を参照するなどを促すことも学習の深耕に資すると思われる。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。 ・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考ええる。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	Paul Gareth Steele

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こどもとふれあう英会話Ⅰ	1	後期	選択	はい	14

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	This was a really enjoyable class to teach with really enthusiastic students. I look forward to teaching them again next year.
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	Interchange 1 was a really good textbook for these students. They all performed well in the exams.					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。

<授業評価の指標>

「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。

また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。

<授業評価の指標>

「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお願いします。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
社会福祉	1	後期	選択	いいえ	46

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	保育士資格取得のための必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業の実施に当たっては、社会福祉がわれわれの生活に密接にかかわるものであることへの理解を促すとともに、福祉の専門職である保育士に求められる知識の獲得に向けて、適宜、具体的な事例を用い、現場実践に引き付けて学びを得ることができるよう心掛けた。また授業開始時に小テストを実施し、予習、復習に対する意識の向上と学習状況の把握につとめた。今年度も昨年度同様、オンラインでの授業であったが、チャット機能の活用、授業後に質疑応答の時間を設けるなど、授業理解度の向上に努めた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された		やや達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績評価としてA－6名、B－16名、C－15名、D－9名であり、A,B評価を取得した学生が全体の約48％であった。また再試対象者は0名であった。他方、学生による授業評価をみると、「達成度自己評価」では、概ね「まあまあそうだと思う」以上の肯定的な評価をしている。しかし、項目によっては1～2名の学生が「全くそうでないと思う」、「少しそうでないと思う」等の否定的な評価している。達成度の自己評価において課題を残した点を鑑みて、達成の有無についてはやや達成されたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は、「専門科目」における「保育の本質・目的に関する科目」に位置づけられるもので、福祉系科目の基礎となる科目の一つである。資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。DPでは、学生による授業評価の知識理解の観点での自己評価について、全ての回答者が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。また、意欲関心の観点での自己評価については、全ての学生が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。このことから内容的妥当性に問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	今年度は、オンライン形式で授業を実施した。授業では、双方向でのやり取りを意識的にを行い、学習環境の質の向上に努めた。また、昨年度に引き続き、オンライン授業に適した配布資料となるよう改善に取り組んだ。その結果、授業の質評価の全ての項目で、回答者の約96%から「まあまあそうだと思う」以上の解答を得ることができた。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。 今年度はすべての講義をオンラインで実施したが、配布資料の改善はもちろん、情報提示の方法の見直しや学生が質問しやすい環境づくりなどを行うことで、学生の授業理解を促すように努めた。今後も教育内容の質の担保、向上を目指し、改善に取り組んでいきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
教育相談とカウンセリング	2	後期	選択	いいえ	68

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	学生の受講動機は、幼稚園教諭免許の必修科目であるためであり、科目へのモチベーションというよりは、保育職へのモチベーションを持って受講していると考えられる。そのため、保育現場での実践を意識した授業内容としている。現場で多く出会うような事例を準備し、臨床心理学や対人コミュニケーション、メンタルヘルスについての専門知識を背景として、事例について考える時間をできるだけ多く取るようにしている。また、現場で様々な事例に対応するために、個別の方法やマニュアルではなく、基本的な考え方や視点の持ち方についての理解が深まるよう留意した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された		やや達成された		やや達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	成績評価平均値が78点であり、例年と同等の値となっていることから、教育目標はおおむね達成されていると考えられる。また、アンケートの達成度自己評価の各項目は平均が4.0以上であり、その点からも、教育目標がおおむね達成されていると考えた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	この科目に関するDPの項目である思考判断に対応するアンケートの自己評価項目は、「(4)さまざまな課題を検討する力を得ることができた」と「(5)的確に判断する知らかを得ることができた」であるが、平均値はどちらも4.0点であり、十分に高いといえる。学生が授業を受けた手ごたえとして感じていることと授業の目標が一致していることがうかがえる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	2020年度はリモート授業の中で、学生が事例について考えたことをどのようにシェアするのが課題であった。21年度には、学生からの提出物の内容を教員が次の授業でコメントを加えながらシェアするというやり方で、共有を図った。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	教育目標は、おおむね達成している。学生の自己評価も高く、授業目標や教員の意図が良く伝わっているように思う。今後も学生とのコミュニケーションを図りながら授業を進めていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こどもの保健	1	後期	選択	いいえ	47

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	今期の本科目は、遠隔授業で実施しました。授業の実施にあたっては、学生全員の反応を見て授業を進めることができない環境であるため、例年に比べて内容を可能な限り削り、授業を組み立てていきました。受講生が予習しやすいように、シラバスには該当の教科書頁を明記し、予習を促しました。本科目は、保育士資格取得のための必須科目であるため、授業内容は、現場で必要な最低レベルの範囲は網羅しようと努めています。受講生達の「受講動機」も、「必修科目である75.7%」「資格取得に必要である83.8%」と資格取得に必要な科目である認識はしっかりと持っていました。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	どちらともいえない	やや達成されなかった	どちらともいえない			
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	本科目は、ABクラス、CDクラスと2つのクラスに分かれて開講されています。評価基準は全て数値化しているため、明確ではあるが、クラス間に差が生じていた。ABクラスは、秀4%・優18.2%・良31.8%・可27.3%・不可18.2%、CDクラスは、秀4%・優4%・良16%・可32%・不可44%、であり、CDクラスの方が低い結果となりました。不可であった15名は再試験を受験し、2名最終成績評価が不可であった。本科目の評価方法の60%が定期試験であるため、定期試験が解けるか否かは成績評価に直結します。今期の定期試験は、例年に比べて問題数も減らし、記述問題も1/3に減らし、難易度も下げたものの、定期試験の点数は悪く、例年と比べて再試験対象者が多かった。受講生の手応えも、授業評価アンケート「2 到達度自己評価」において「（1）自分なりの目標を達成した」の平均値は3.8であり、中央値は4.0と例年と比較するとかなり低くなってしまった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は、知識の獲得が主たる内容であり、授業評価アンケート「2 到達度自己評価」での一番高い項目が「(2) 知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」(平均値4.6、中央値5.0)であったため、受講生もDP 1 知識理解に重点がおかれている科目であると認識してくれていると分析しています。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	本科目は、今までの受講生の姿を見てきて、復習が重要であると思っています。復習ができ、また、実際に保育現場に出た時に活用できるように、受講内容をノートにまとめるということを課すことで「勉強する」習慣を今までの受講生には付けてもらっていた。ノート作りには労力が必要であるため、頑張っていることを十分に評価に反映させるために、評価項目に「ノート点」を毎年設けています。この「ノート点」を付けるため、ノートをチェックする日程を科目の初回授業の時に提示します。今期も同様に提示し、さらに今期は取りに触れてノート作りをするように声掛けをしていたが、結果として、ノートチェック締め切り1週間前に、課題の多さで体調不良になるという訴えが多発し、一番負担が大きいと言われた本科目のノートチェックを負担軽減のため、「なし」としました。そのため、今までノート作りをすることで自然と復習(勉強、試験勉強)していたことができていないため、定期試験が解けないという結果をもたらしたと考えられます。今期は、12月中に14回全ての授業が終了し、ノートチェックは1月末と1か月の猶予があったため、私としては十分期間があって受講生達は楽であると思っていたが、実際にはノートを仕上げられた受講生は数名しかいなかったことから、私と受講生の認識のずれがとて大きかったと反省しています。ノート作りが負担であることは重々承知していますが、卒業生達の反応を見ると、ノートは非常に現場で役に立っているため、今後も続けていきたいと考えていますが、今期のように「体調を崩すほど負担が大きい」と言われてしまうと対策を考えなければならないと思っています。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	ノート作りが効果的にできるように支援できなかったことが、今期、例年になく再試験者を出してしまい、単位が取れなかった者を出してしまった原因の1つであると反省しています。次年度は、対面での授業、15回授業に戻るため、受講生の反応を見ながら授業が可能となるため、いつものように支援することが可能であると期待しています。例年のような量・質が担保できるように授業の準備を進めていきたいと考えています。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども家庭支援の心理学	1	後期	選択	いいえ	46

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	保育士資格のための必修科目であることから、学生の受講動機は資格取得のためである。学生による自己評価「学びを深めたいと意欲を持つことができた」の平均は4.1点と十分に高い得点であったことから、意欲を持って取り組んでいた様子が分かる。授業の内容としては、基本的な知識と現場でそれを応用するための事例を用いた学習とのバランスに配慮しながら、1年生にとっても理解しやすい内容になるように留意した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された		やや達成された	やや達成された		
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	受講生の成績の平均点も高く、多くの学生が授業の目標を十分に達成しているといえる。また、達成度自己評価の各項目の平均値も3.6から4.1点と十分な値であり、学生自身も目標到達の手応えを感じているといえる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	1年生後期科目で、心理学的知識をもって子育て家庭を支援していくための科目である。「こども家庭支援論」などの福祉系科目と「教育相談とカウンセリング」といった心理学的な臨床実践に重点をおいた科目との橋渡しの役割を担っている。そのため、知識や考え方の基盤をつくることと、現場に即した学びの両方の要素が必要である。授業の構成としてもその点に留意している。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	リモートで実施したため、資料の配付や共有に工夫が必要であったが、概ね、対面授業と同等の学習効果が得られたと考えている。また、オンデマンドで配信した資料は、繰り返しの視聴が可能であるため、その利点を活用して熱心に取り組んだ学生から提出された課題の質は高かった。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の自己評価としても課題などに対する成績評価としても、十分な学習達成状況であった。次年度以降は、対面での授業としてさらに受講内容を充実させるようにしたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	村上 里絵

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育の計画と評価（教育課程含む）	1	後期	選択	いいえ	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①2年生に進級してからの6月に「教育実習」に行くこと、卒業後にすぐに保育に携わることなどを意識して、可能な限り保育現場での具体的事例を挙げながら、「保育の計画」と「実践後の評価」の重要性を説明してきた。また、「計画」→「実践」→「評価」→「改善」のPDCAのサイクルの中で、「保育の質」の向上を目指すことが大切であることを強調してきた。しかし、実際にこどもの姿を見ながらの「計画」「実践」ではなく、理論を通しての理解は難しい面もあったかもしれない。「教育課程」「保育課程」「全体的計画」のイメージを掴むには、自由記述の「先生の授業は学びの多い授業でした。」と「よくわからない説明が多々あった。」からも読み取れるように、学び方や受け取り方にも個人差があり、格差があるように思われた。しかし、基礎的に必要な理論のポイントは押えているので、保育現場に出てから活用してくれることを願っている。②受講動機については、「必須科目である」からが73.3%で、「資格取得に必要である」が76.7%であった。受講動機によらず、保育現場に立った時には、繰り返し説明し伝えてきた保育の「計画」と「評価」の繰り返しで「保育の質を向上させる」重要なものであることを、思い出し「質の良い保育」を営んで欲しいと願っている。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された				やや達成された	やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	課題レポートの提出で採点を行った。課題レポートの内容は、部分指導」及び「4歳児の部分指導」を想定して立てた「部分指導案」であった。授業時の内容を理解してそれを反映させている学生と、理解するまでの余地が残されている学生との差が感じられた。家庭学習とし、「何をしたらいいのかわからなかった。」とする一方、「教科書を読んで、予習したり、復習したりし指導案に取り組んだ。」と前向きに取り組んだ学生の具体的事例もある。来年度は、このような具体的事例も紹介したいと思う。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	保育の計画と評価をすることが、保育の質を向上させる一連の取り組みであることを深く理解できるように、2年生前期までに「こどもの姿を読み取る」→「その姿からねらいを考える」→「ねらいを達成する予想されるこどもの活動を考える」→「その活動に子どもがその気になるような環境からの刺激＝環境構成を考える」→「こどもの活動を援助する保育者の動きを考える」→「実践する」→「評価する」という営みが楽しいと思えるように、それぞれの関係性と、また具体的ワークに取り組む時間をとるべくタイミングを図っていきたい。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	「保育の計画と評価」の特性上、理論での説明が主になってしまう。その為に、出来る限り具体的事例を示すようにし、テキストも保育現場の事例を基にワークする著書を選定した。理論を基本としながらもアクティブラーニングが出来るような工夫がより必要であったかもしれない。この授業で学んだ理論が、実習先で思い出され、生かされることを願っている。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生が家庭学習をする目標が持てるように、具体的に宿題（課題）を出した。少数ではあるが、30分以上の復習を行っている学生も増加してきているように思われる。次年度も「学習への動機づけ」と「自宅学習時間の増加」を目指し、「仲間とともに考え合う」などのグループワークの時間が持てるような工夫をしていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	末 崙 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容「環境」	1	後期	選択	いいえ	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①資格必修科目のため、受講動機にはそれが反映されている。 ②演習科目であるため、実技とグループワークを積極的に取り入れた。できるだけ学生の関心や好奇心を高めるよう、授業回毎の関連を意識的に持つようにした。また外部講師を招き、「環境」への理解が深まるような内容も盛り込んだ。実技にあたっては、事前の準備の必要性も説明しており、また振り返り学習をその都度行うようにした。 ③単元毎にプリント課題を課し、学習の振り返りとまとめができるように工夫した。プリントやレポートについては評価の対象となることを説明し、大切に守って提出するよう促した。 ④途中で遠隔授業に切り替わる可能性を見越して、体験的な授業内容はできるだけ早い時期に行えるよう授業スケジュールを工夫した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終成績の平均は77.1点、再試験該当者は1名であった。再試験レポートも合格のレベルに達している。そのため、DP1の知識理解については「達成された」と捉えてよいと考える。 授業内で課していた小レポートに関しては、単元毎に振り返りができるよう作成していたため、その都度の振り返りに関してはできていたと思われる。また「課題で十分理解できた」という記述も多く見られた。小レポートに関しては意欲関心につながるように設定していた。 実技やグループワークを行い、DP5の技能表現を達成するよう設定していた。振り返りレポートや授業評価アンケートの自由記述から、実技の授業は好評であり、楽しみながら学ぶことができていたと思われ、「達成された」と評価できる。 以上、2つのDPの達成度から鑑みると全体を通しては「達成された」と評価したい。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	CPでは「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付いている。保育の5領域に関する内容を扱う科目であり、内容的に妥当であると考ええる。 DPでは「知識理解」「技能表現」を問うように設定している。演習科目であるため、学生の参加意欲をより引き出せるような工夫を行っていきたい。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の進め方について、教室に限らず、屋外環境なども用いて授業を行ったりした。実技の授業は学生が楽しみながら学ぶことができ、環境遊びの技能向上につながったと考える。振り返りの学習も個人が十分に理解を深めることができていた。22年度はカリキュラム改変もあるので、学生主体の活動をさらに取り入れたいと考える。 評価基準に関して、プリントや期末レポートの評価を明示し、学生が達成度を自覚できるようにしていたが一部の学生は把握できていなかったようだ。 自由記述から、自然の中での遊びへの理解が高まったという記述が見られ、学生が授業を十分に楽しめ、また実習等に活かそうとする姿勢が見られたことは良かったように思う。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	保育の5領域に関わる内容であり、より具体的に体験的に学ぶ授業だと考えている。 これからも「環境」のとらえ方について様々な視点を持ち、日常的に保育環境への関心を持てるような教材の提供をしなければならないと考えている。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容「言葉」	1	後期	選択	いいえ	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は、幼稚園教諭・保育士資格取得に必要な科目であるため、免許・資格を希望する学生は全員受講している。また、認定絵本士養成講座の関連科目でもある。本科目は保育の5領域のうちの一つであるため、幼稚園教育要領や保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領などに則って授業を展開した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な評価は86.1点（最高点95点、A-14.6%、B-50.0%、C-25.0%、D-10.9%）である。本科目は、2クラスに分かれて行っているが、各クラスの平均得点はAB-81.9点、CD-81.4点であった。得点の違いについては、本科目は、定期試験を行わず、評価レポート及び複数のレポート以外の提出物等を評価の対象としていた。特にレポートの体裁や資料の提示方法についての個人差が大きくみられた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門科目」における「保育の内容・方法に関する科目」に位置づけられている。言葉や絵本といった比較的学生の関心の高い科目でもあるため、受講に関しては比較的前向きな学生が多い。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	演習科目のため、講義と併せて実践的な演習を多く取り入れた。様々な児童文化財（紙芝居、絵本、ペープサート、パネルシアター）は、講義を行った後、個人またはグループでの発表を行うことで、素材の意義を理解しながら取り扱いができるように配慮した。また、実習後は、実習で実践した読み聞かせなどを学生同士で語り合い、経験を振り返ることで、他者の学びを自己の学びとしても捉えられるよう授業を行った。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の「到達度自己評価」及び「授業の質評価」を見ると概ね授業の目標は達成できたと考えられる。今後は、学生の興味・関心に基づいた教材の提示や授業・実習での経験・実践に基づいた講義を効果的に展開することを心がけたい。 また、評価レポートにおいて、事前にレポートの作成方法についての確認の重要性を感じている。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	河瀬 洋美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育内容「人間関係」	2	後期	選択	いいえ	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，自由記述の意見など	・テキストを使用し、認知スキルと社会情動的スキルの相互作用について学ぶことができるように授業計画を立てた。 ・テキストを予習することは難しかったようだが、授業中に集中していればしっかり理解できる内容だったと思う。 ・子ども達の集団生活の事例を分析しながら、保育者として自分自身が人と関わるが求められるので、その点を自覚できるように工夫した。 ・他者と自分を理解しながらどのような行動がとれるか、折々にテーマを決めてレポートを提出してもらったが、ほとんどの学生は文章力があり、考えを率直に述べることができていた。 ・出席日数が少ない学生は、提出も遅く考えをまとめる、端的に表現するなどが苦手のように感じる。 ・私自身の体験からわかりやすく、実際の保護者とのやり取りや子ども達の動きなどを話すようにした。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	・午後からの授業で、睡魔との闘いだったが熱心に授業に臨む学生も多かった。 ・授業態度や貢献度、レポートの内容等で成績を判断した。 ・様々な事例をもとに育ちと遊びを連動させながら考える力がついたのではと思っている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	・保育内容「人間関係」は、全内容に関わるので自分自身を振り返りながら、子ども達に対して人と関わる力をいかに育てていくかを命題に進めてきた。 ・養護と教育に関わる内容がそれぞれ関係性を持ち、総合的に保育を展開していくための知識や判断力を学ぶ姿勢を求めてきた。 ・保育者にとって必要な科目であり、自我の育ちや自己抑制、自己調整力等今後も学び続けてほしいと思う。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	・目標はやや達成できたが、自己評価としてはもっと魅力ある時間を作れたのではないかと、眠らず関心を持ってもらえたのではないかと反省もある。 ・学生に発表する機会を設けるとよいが、どう取り組んだらいいかわからず、悩みの種。 ・授業の質としては、テキストを変えるとまた違った角度でアプローチができ、資質の向上につながるかもしれない。 ・今のところは「社会情動的スキル」をしっかり記憶にとどめてほしいので、現状維持の予定。 ・学生の評価は、平均的だが魅力ある授業の方法をもっと考える必要がある。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	・やや達成できた。 ・今後も学生が理解できるように伝わる言葉で進めたい。 ・授業が始まると、100分、90分を走り抜けてしまうので、閑話休題を心がけたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	末嵯 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育メディア演習	2	後期	選択	いいえ	68

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	教職に必要な科目のため、教育方法としてメディア機器を扱うことと様々な保育方法の検討などが行えるよう工夫を行った。 もう一人の担当者と明確に分担した。保育・教育の方法論として、複数の保育方法について検討を行ったり、メディアと子どもの育ち、保育や育児に関わるメディア環境の影響など、子どもの育ちから見たメディアと保育者としての関わりの在り方について学ぶような内容にした。 演習科目であるため、アクティブラーニングを意識し、ディベートや発表などを取り入れた。学生自身が置かれているメディア環境（スマホ依存など）や自分自身の経験を活かすようなテーマ設定を行った。「保育にメディアは必要なのか」という根源的な問いに、授業を通して学生が出会えたことが非常に良かったと思われる。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された			達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終成績の平均値は77.6、再試験該当者はいなかった。平均点やレポートの内容から、DP1の知識理解は「達成された」と評価できる。 また、授業内小レポートを8回中6回課し、それらの小レポートやディベートや発表の内容から「保育に必要かどうかを含めて、自分なりに、メディアとの付き合い方を考えていく態度」が養われたことがうかがえた。今回は学生の到達度自己評価が全て4.1以上となり、「課題を検討する力」「的確に判断する力」が共に4.2であったため、DP4の態度に関しては「達成された」と評価できる。 以上の結果から、全体を通して「達成された」と評価したい。					

5. D P, C P, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
D P, C P, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目はC Pにおいて「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付く科目の一つである。保育の方法に関わる内容であり、様々な保育の方法があることを知り、卒業を控えた学生たちが今後どのような方法をとるべきかを熟考する内容であるため、妥当であるとする。 D Pに関して、今後、子どもとメディアを巡る環境はますます変わっていくものと考えられる。卒業後も継続的に関心を持ち、常に問うていける姿勢を持ち続けるためには「思考判断」や「意欲関心」を高められる内容も盛り込んでいく必要があると思われる。今回の授業内容では、D Pの位置づけは妥当であったが、これからの授業展開として課題としていきたい。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	学生からの授業の質評価は平均4.3と非常に高かった。授業後の小レポート作成は、振り返り学習を行うのに効果的だったと思われる。また、昨年度は授業参加の意識が高まらなかったことから、今年度は実技を多く入れたり、課題を明確にした上で発言の機会を多く設けたり、グループワークも取り入れたりしたため、その効果があったと考えられる。自由記述も好意的な意見が多かったため授業への満足度も高かったと受け止める。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	メディア環境との関わりを、子育てや保育を通して自分なりに考え使っていく態度を養うことができたという評価できる。次年度も教育・保育現場でのメディア環境の変化に追随できる授業内容を構築し、より理解を深められるようにしたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	谷崎 太

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育メディア演習	2	後期	選択	いいえ	68

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	・受講動機は次の通り。①必修科目である77.4%、②資格取得に必要である69.4%、③関心のある内容である16.%、④単位数を確保する35.5%、⑤GPAをあげる12.9%、⑥友人が履修している1.6%。 ・幼免取得のための選択修科目である。 ・初学者の受講を想定して、教材・資料の配布を行った。 ・教材・資料の内容を理解、定着させるためには例題等による問題演習が不可欠となる科目であるため、コンピュータ操作の手順ならびに理論を解説した後、問題の演習を行う形で進めた。 ・コンピュータ操作の手順ならび理論の解説には、授業用に作成したスライド、プリント等を用い、教材・資料に沿って例題に取り組むなどの演習を行った。 ・授業で示された手順、解説をノート等に記録し、それを予復習に利用することで、自発的学習に対応できることを想定している。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された			達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	・担当部分の成績評価は、平均75点／100点であった。再試対象者は0名であった。 ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.0で最も高いスコアであった。 （7）自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた ・到達度自己評価の項目中、次の点が平均値4.0で最も低いスコアであった。 （8）コミュニケーション力や表現力を高めることができた					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	・学科のDPの、知識理解（DP1）、態度（DP4）の基礎部分を担う科目として開講している。 ・受講動機、学習到達度の自己評価の結果から判断して、開講の意義は充足しており、内容の妥当性に問題はないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	・授業の質評価の5項目についてのスコアは3.3～3.6であり、概ね意図した授業が実施できたと考える。 ・学習量の評価では、適度な予復習がなされていることが示唆される。授業の時間内に仕上がる程度の課題を演習として課しているが、概ね丁度良い負担となっていることが推察される。 ・図書館等の利用はあまりなされていないが、演習とした課題や参照するよう指示した資料はweb上で入手・確認可能であった結果を反映したものと思われる。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	・当科目によるDP上の意義は概ね達成されていると考える。 ・予復習、自発的学習を促す工夫をする余地があると考ええる。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	松本 真理子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
特別支援教育論（障がい児保育含む）	1	後期	選択	いいえ	49

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	学生の多くが開講時点で「障害についてもっと詳しく学びたい」という高い動機を有していた。こうした高い受講動機が学びに結びつくよう、各学生がこれまで出会った障害児・者についての記憶や障害観を賦活させるとともに、各障害種を疑似体験するワークや障害を扱った絵本の読み聞かせを取り入れ、障害当事者である子どもの体験理解を深められるように工夫した。また、話し合い活動や、グループ発表を取り入れ、主体的な学びになるような授業構成にした。 小テストを半期で三回行い、こまめな知識理解の復習を指示した。 前年度はコロナ感染症対策でオンラインとなり、テキスト中心の講義であったが、この年度はほぼ対面で実施することができたため、学生が興味関心を維持できるよう比較的变化を持たせた授業展開を心掛けた。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された			
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	毎回のワークシート提出および計3回の小テストの結果、成績の平均値はABクラス83.6点、CDクラス81点と、80点を超えていた。実際、9割の学生が予復習を行っていた。こうした点から、ねらいとした学びが達成されたと考える。学生の学修達成度の自己評価においても、「自分なりの目標を達成した」について、平均で4.3ポイント、知識を確認、修正したり、新たに得ることができた」については平均で4.5ポイントと、概ね学びが達成されたと感じられていることが示された。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は保育士資格取得および幼稚園教員免許取得のための必修科目である。この授業では、新カリキュラムに準拠したテキストを使用し、小テストはこのテキストから出題している。学生は3回の小テストで一定の成績をおさめており、内容的には妥当と考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	学生からのコメントでは「自分が知っている障害のこと以外で詳しくわかりやすく説明してくれたので、とてもわかりやすく知識がついたと思いました。」との自由記述があった。また、学習量の評価についての質問項目に対しても、「授業中の興味のある分野を少しやってみた」「一つの障害を詳しく調べて対応法を理解した」といった回答がみられた。基本的な知識の習得をおさえつつ、学生の興味関心を刺激し、発展的自主学习へと促すことができたと考える。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
乳児保育Ⅰ	1	後期	選択	いいえ	46

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	・資格取得の必修科目であることを踏まえ、テキストや参考文献、またDVDを用いて伝えるべき内容を網羅するようにシラバスに従って授業を進めた。 ・これまで3歳未満児と関わった経験がない学生が多かったため、守秘義務に配慮しながら保育現場をイメージしやすいように写真や動画を活用したり、事例を説明したりすることで理解を促していった。 ・講義主体の授業だが初めて保育所実習に出ることを視野に、現場で役立つと思われる事例をもとに、子どもとの関わり方やその関わり方の意図などについて考えるグループワークを組み入れたり、実際に保育人形を使って着替えやおむつ交換の演習、またふれあい遊びやわらべうたなどの実技も取り入れたりして授業を行った。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	やや達成された			
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	・全体を通しての成績は87.4（±1.6）であった。総合評価としてはほとんどの学生がAやBの標準以上の評価であった。 ・しかし定期テストでは、4名の学生が60点台の得点であった。知識理解について授業内容の理解を促す個別対応の工夫も必要である。 ・具体的な事例を取り上げることで乳児に対する理解が深まったと考えるが、時々集中が削がれて居眠りをする学生がいた。声掛けにより前向きに授業に臨む姿勢は感じられた。 ・講義主体の授業であったが、実習に出るために着替え、おむつ替えといった演習も取り入れた。学生は積極的に参加して要領を覚えることができた。また乳幼児の発達を促す手遊びやふれあい遊び、わらべうたなどについても演習の経験を通して実践に活かすことができたと思われる。 ・次回の授業の内容をテキストの箇所等で伝えていたが、ほとんど予習をしてきた様子がなかった。授業の課題以外の学習に取り組んでいない理由に「授業の内容で十分だった」とあったが、自習することでより理解が深まることを伝えるなど、今後も学習準備の仕方を工夫していきたい。 ・授業に関する質疑応答の時間を設けていたが、学生の反応が少なかった。またグループワークの機会を設けたが、主体的な発言は少なかった。しかし指名するとの確な答えが返ってきた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	・本科目は、「専門教育科目」の「保育の内容・方法に関する科目」に位置付けられており、保育士資格取得に必要な科目である。ほとんどの受講生は資格取得を希望しており、前向きに授業に臨んでいた。 ・実習前に必要な知識・技術を伝えるべく、できるだけ具体的に講義や演習を行うことで、学生の知識理解が深まったと思われる。 ・「自由記述」では「具体的な事例が多く、分かりやすかった」との意見があった。現場での事例を用いて解説したことで、現場での様子がイメージされて理解を促したと思われる、学生の思考判断力の獲得に寄与することができたと思われる。 ・以上より、内容的妥当性に問題はないと思われるが、学生の主体的な学びを促すために授業内容の改善が必要である。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	・これまで3歳未満児との関わりがほとんどない学生に対して、実習前に必要な知識・技術を伝えるべく、できるだけ具体的に講義や演習を行ったが、特に法令や保育指針等の内容を説明するときに、学生の学習意欲が落ちている印象があった。現場での事例をはさみながら画像等も利用した講義や遊びの演習などは高い関心を示して受講することができていたため、分かりやすい事例を組み込んだり、途中で手遊びを盛り込むなどしながら、必要な内容はもれなく学習できるようにしていく。法令や保育指針、倫理綱領等に関しても、その内容の理解を促す工夫をしていきたい。 ・「自由記述」では「具体的な事例が多く、分かりやすかった」との意見があった。現場での事例を用いて解説したことで、現場での様子がイメージされて理解を促したと思われる。 ・しかし、学生の主体的な学びが保障できるように、質疑応答の時間を充実させたり、事例検討などのグループワークの内容を改善していく必要がある。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	・ほとんどの学生は、授業内容を理解して学んだことを実習等で生かそうとしているが、少数ではあるが理解や応用が難しく、学習意欲の低下が感じられる学生がいる。よって興味・関心が持てるような事例の説明や遊びの演習等を盛り込んだ授業を工夫し、学生の主体的な学びと理解を促すようにしていきたい。また予習の必要性についても理解を促していく。 ・学生の知識理解という観点からは目標は達成されたと思われるが、学生の思考判断という観点からは、学生の主体的な学びを促すために上記のように授業内容の改善が必要である。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
社会的養護Ⅱ	2	後期	選択	いいえ	65

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	○	○	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は保育士資格取得のための必修科目であることから、資格取得を目指す全ての学生が受講している。授業実施にあたっては、社会的養護の担い手である保育士に求められる基本的な知識の獲得を目指すとともに、事例検討の機会を多く取り入れ、授業での学びをできるだけ実践と関連付けて考えることができるよう工夫した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された		やや達成された	やや達成された		やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な評価としてA-19名、B-29名、C-9名、D-6名であり、A、B評価を取得した学生が全体の約74%であった。また出席不足による単位認定不可が2名であった。他方、学生による評価をみると、「学習達成度の自己評価」「授業の質的評価」の全項目に対して、全ての回答者が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。 以上のことから、目標はやや達成されたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、「保育の内容、方法に関する科目」に位置づけられている。資格取得のための必修科目であることを学生も理解しているため、受講に対する意欲は比較的に高い。 DPでは、学生による授業評価の思考判断の観点、意欲関心の観点、技能表現の観点での自己評価について、全ての回答者が「まあまあそうだと思う」以上の評価をしている。また、適宜、ワークシートの確認を行ったが、回を重ねるごとに考察に深まりがみられた。 以上のことから、内容的妥当性は問題ないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	今年度は対面での授業であったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から個別ワーク中心で演習を展開した。また、教材の見直しを行い、授業内容に対する学生の理解度の向上に努めた。学生からの評価としては、「授業の質評価に関する項目」の全てにおいて「まあまあそうだと思う」以上の肯定的評価を得ることができたため、その取り組みは一定の成果があったと考える。今後も状況に応じて教材の改善を図っていききたい。また、リアクションペーパーの活用や個別の質問対応等についても継続していくことで、授業の質的向上を図っていききたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の取り組み状況や評価結果から、本科目の学習目標はやや達成できたと考える。今年度は対面授業であったが、継続的に取り組んでいる、教材や個別ワークの展開方法の見直しについては一定の成果が得られたと考える。次年度以降も受講生全体の学習理解度を高めることができるような方策を含め、授業の質的向上に努めていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	東 彩子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
キリスト教保育	1	後期	必修	いいえ	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本学のキリスト教の特色を生かした必修科目であるが、受講前はほとんどの学生が関心がないことを踏まえ、以下の3点において、キリスト教に関心のない学生でも興味をもって取り組んで行けるよう工夫した。 ①キリスト教と保育の関係性について明確にすること ②「感恩奉仕」の精神を生かした学びとして「世界の子どもたち」について調査し発表すること ③キリスト教学Ⅰで学んだ聖書の物語についてシナリオを作成し、実際に演じてみること。 ②③は学生自らが主体的に学ぶ訓練として導入し、「世界の子ども」の発表によって視野を広げ、「聖書の物語の劇」を創作することにより、監督を中心にシナリオを製作するなど、保育現場でも生かして行ける内容を工夫した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された				達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	到達度の自己評価①自分なりの目標を達成した（4.1）、②知識を確認、修正したり、新たに得ることができた（4.3）、④専門分野の様々な課題を検討する力を得ることができた(4.1)、⑧コミュニケーション力や表現力を高めることができた(4.4)、また、到達度自己評価の平均値4.2などからわかるように、教育目標はおおむね達成されたと言える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本学のキリスト教の精神に基づき専門科目の「保育」を学んでいくという、本学のユニークな科目である。教養教育との違いが心配されたが、到達度の自己評価の中の専門分野に触れる質問に関し、平均値が4.1であり、職業倫理や行動規範を学ぶ事ができた(4.2)、職業選択の参考になった(4.2)からもわかるように、内容的に妥当であったと言える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	「世界の子どもたち」の調査・発表により、学生が参加する機会が作られていた(4.5)からもわかるように、講義と演習とのバランスは妥当であったと考えられる。オンラインでのグループ作業であったため、作業の準備期間多く確保したため、十分にディスカッションできたことは良い成果であった。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本学独自の科目であり、他大学の保育科との違いを明確に出す必要がある。毎回の学びがキリスト教つまり本学の「感恩奉仕」にいかにつながっているかを意識しながら展開できるように、科目に関心のない学生に対しても関心を引き起こすことができるような工夫を行なっていきたい。 「世界のこどもたち」の学びは、学生の関心が集まるテーマである。キリスト教保育は日常生活では触れることのない広い世界に目をむけていく視点を含んでいるため、この点を活かしつつ、今後も学生たちの関心を汲み取りつつ展開していきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども音楽療育概論	1	後期	選択	いいえ	19

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	①発達に問題を抱え生きずらさを感じている子どもたちに援助を行うことができる「こども音楽療育士」資格認定の基礎となる科目である。資格習得に必要である（44.4％）と自覚し55.6％の学生が関心のある内容であることを受講動機にあげていた。講義が遠隔で行われた影響で、受講動機に「先輩に勧められて」というものがなかったので、学外実習への関心を高める資料を提示した。 ②障がいのある子どもたちへの未成が過去に行ったさまざまな音楽セッションを盛り込んで関心・意欲を高めさせたり、実際の療育に有効な楽器を紹介した。手話ニュースをはじめとして、NHKの障がい者と共に歩む番組を紹介し、共に学ぶ姿勢を大切にした。 ③毎回専用のノートをしっかりとして理解を定着させるように指導し、また努めて学生の意見を聞き、助言を伝えることで、周囲にも問題提起ができるように働きかけた。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された					やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①学習到達度の自己評価が「知識の確認・修正・新たな獲得」「学びを深めたい」の項目は4.4、「コミュニケーション力や表現力の向上」4.3「課題を検討する力を得た」・「的確に判断する力を得た」などの項目がいずれも4,3という値が出ていたが、学生自身が目標を達成したという部分が、3.9と少し例年より與が低かった。 ②自由記述で「今まで障がいある子どもとどのように接したらいいかわからなかったが、少し糸口が見えた。保育の現場でも多くの曲を知って療育的なかわり方を学んでいきたい」という大変前向きな意見があり、教える側は襟を正す気持ちになった。そうした実体験と障害について生きにくさを想像することができるようになり、現場の保育に生かしてほしいと願っている。 ③A4サイズのノートを使って毎回の授業を記録することで、プリントのファイリングでは得られない知識の定着が可能になることを前年度で確信したので専用ノートの徹底を実行した。これは2年生の「こども音楽療育演習」「こども音楽療育実習」と1年半にわたる短大としては最長の継続的な学びになる。 ④書籍は出版される時点で何らかの検証が行われることを繰り返し申し伝え、ネット情報の危うさについて注意喚起をした。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①無回答があるものの、受講に際してシラバスを参考にした学生はそうでない学生の半数であった。ただしオープンキャンパスおよび受験時の面接で、音楽療育に関心があるのでこの学校に入学したいという学生が何人もいたので、毎年担当者としては身の引き締まる思いで臨んでいる。学習量の評価の結果を見ると、30分以上の復習は50パーセントの学生がしたことがある、という割合にとどまった。しかし毎回振り返りをするという段階にはならなかったものの、民族楽器について調べたり、曲について調べたり、ノートの振り返りをした学生はすべての項目で半数に上っているので、前向きな学習への取り組みが感じられた。授業の後の30分の振り返る、ノートの整理は学習を深める大きな力になるので今後もこの点を学生に徹底して伝えていきたい。 ②スマホで手軽に見ることだけで安易に障害について理解したように考えてしまわないことを指導した。図書館を利用し、信頼できる書籍の活用を通して、いろいろな角度から問題点や方法を考えてほしい。 ③音楽は心地いいものであるとは感じているが、障がい結び付けて考えることがほとんどなかった学生が多かった。この講義を通して「音楽のもつ力」というものについて改めて考え、それが障がいのある子どもには、他者とのつながりのきっかけになるということが理解できたことは学びの成果だったと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	到達度自己評価の「自分なりの目標を達成した」が3.9という値で、他の項目がすべて4.1から4.4なので、その不足的な部分について考える必要を感じた。概ね学生が理解できる正当な授業が展開できたと思うが、授業者である私自身が、本年度は2冊の書籍を上梓する機会に恵まれ、そのため少し専門的な部分に特化しすぎたこともあるのではないかと振り返っている。障害のある幼児の教育的支援については編者を担ったおかげで他大学の教員とも意見交流する機会があり西南保育科の弱い部分を感じ、今後も私自身も研究を深めていく必要性を強く感じた。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	実務家教員としてできるだけ具体的に様々な角度から子どもの持つ不自由さを理解し、音楽の力と障がいのある子どもへの理解を深めさせた。受講する学生は入学時からこの科目に強い関心を持って受講しているので受講態度は大変まじめで向学心を持っていた。地域の障がい者施設などを訪問したり「療育的保育」ということを体験することがなかった学生も、回を追うごとに積極的な調べ学習や取り組みが見られた。ますます多様化、重複化する子どもの障がい理解するために、できるだけ実際の音や効果、方法、音楽の力を示しながら講義を進めた。日常の保育の中で、障がいのある子ども、そうでない子ども、音楽の力を使って人間関係を築く場面を設定できる「こども音楽療育」という分野は、次につながる「こども音楽療育演習」「こども音楽療育実習」への理論構築になる。そして、保育の現場では音楽を媒体にしたこうした取り組みは、障がいの厳しさ、音楽の持つ影響力や、五感の中の「聴く力」への理解を深めることで、さらに保育のスペシャリストとして活躍できる人材を育てると確信している。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども音楽療育実習	2	後期	選択	いいえ	16

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	昨年度に続き、コロナ禍以前のように市内の保育所や支援学校へ出向いての実習がかなわなかったため遠隔会議システムZOOMを用いて、保育園や幼稚園と大学を結んで双方向のやり取りを可能にしながら音楽あそびを行った。昨年度は3回の音楽あそびを3箇所別々の園と行ったが、今年は3保育園、1幼稚園と同時につないで3回の実習を行った。コロナ禍の中で様々な制限があるため園児たちのために、学生たちは園児の声を拾いながらやり取りできるように、動作遊びが無理なくできるようにと、企画の段階で何回も試行錯誤を重ねていた。昨年度は本年度よりまだ厳しい条件で、学生が登校できない中で自宅で動画を取って編集するという苦労があったが、今年は、リモートの授業が2回で済んだため、大学内で演奏動画を録画することができて条件的にはかなり恵まれた。配信に際して当日発表する学生以外も積極的に協力する姿が見られた。学生は、苦労もあったが最終的には園に感謝されるようなリモート音楽あそびを成功させることができて、十分な充実感をもっていた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された					どちらともいえない
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	トータルの成績が90点以上が90%で、だれ一人、手を抜くことはなく、全員が大変意欲的に取り組んだと認識していたが、到達度自己評価の10項目のうち9項目に全くそうは思わないと回答した学生が一人いて、大変心を痛めている。自由記述にあるように教師の意見を押し付けられたと感じていたようで、信頼関係を築けず、コミュニケーションの不足があったことを深く反省している。また「総合表現をしたくないからこの授業を取ったのに、総合表現を無理やり手伝わされて不快だった」という記述に愕然とした。リモートで行った療育的音楽あそびを、実際の園児さんの前でやることは、さらに学修を深め、充実感も得られるのではないかと考えた（実際には総合表現は感染拡大のため実現しなかったが）がそれは間違っていたと反省している。シラバス以外のことを実施するときは、深く詳しく説明を重ね、了解を得て、さらに学生の負担にならないように慎重なうえにも慎重を重ねていかなくてはいいなかった。今後の教訓として肝に命じている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	1年後期の「こども音楽療育概論」、2年前期の「こども音楽療育演習」と進み、本科目である2年後期の「こども音楽療育実習」で認定資格を満たすのだが、学習の遅れから本年度は3名の学生が実習へ進むことができなかった。1年次の取りこぼした単位を取るため時間割上の重複があって取れない、などと理由は明確だが、「こども音楽療育士」の認定を受けるまで進めなかった学生がいたことは残念である。シラバスに示した①対象児の理解を深め、②実習を通して、療育音楽活動の効果を実感し、③実際の療育的音楽活動を実施する力を持ち、自身の療育的音楽活動の振り返りをして、より対象児に合った療育の在り方を考察できる、という学生の達成目標をめざし、学生自身による授業の質の評価で、5項目すべてで、まあまあと思う、わりにそう思う、かなりそう思うが80%で、内容的には妥当であったと考える。受講動機の、1「資格習得に必要である」が90パーセント、2「関心のある内容である」が60%であった。授業評価への回答率が受講生の2/3（昨年は76%と向上が見られなかった）にとどまってしまったので、リモートでの回収率は低くなりがちではあるが、全員の回答を促す必要を感じた。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	遠隔で市内の園と学生を結んでの実習が2年目になり、希望してくださる対象園が3か所も増えたことは、西南女学院保育科の音楽療育のリモート音楽あそびが市内の園に口コミで広まっていることがことが実感できた。科目担当教員も受け手の園の教員もネットの扱いに慣れてきたことも力になっている。振り返りとしては①本企画に関心を持ち協力してくださった園が増えた。②ネット環境を整える意向があってそれを実践してもらえた、③すでにユーチューブ配信で、保護者さんへ園行事を限定公開していたりするスキルを持っていて、アドバイスをいただくことができた。④学生たちは本番直前まで十分な話し合いと発表に必要な道具作りに励み、音楽的な練習も重ねた。それらの結果が、4月からの現場でのコロナ禍だからこそそのリモート作業にも生かされるのではないかと考える。しかし、コロナ禍だからこそ生まれたメディアの新しい使い方への関心は、思いのほか低く、双方向だから可能だった学生とのやり取りを楽しむ園児の姿と一緒にになって共感することがあまり見受けられず、保育士としても新しい形が表れているのかと感じた。養成校と園のと結びつきが、さらに確固たるものになるためにこうした取り組みを通して保育の継続、教育の継続を目指していきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	ネット環境さえ整っていれば安価にたくさんの園と同時に活動できる可能性を証明することができた。また、在宅の未就園児、障がいがあって集団保育を受けられない園児も保育を受ける機会が広がる。様々な可能性を求めて配信を続けていくことで、コロナの状況を乗り切ることができるに違いない。学生たちの発想力を伸ばすことで、さらなる楽しい企画をリモートで行えるように支援していきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	藤田 稔子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
在宅保育	2	後期	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は、「認定ベビーシッター資格」取得のための必須科目です。授業評価アンケート「1 受講動機」で72.7%の受講生が「資格取得に必要である」と回答しており、本科目の位置づけを十分理解してくれているといえます。今期の受講生の「受講動機」に「関心のある内容である」と77.3%が回答していることは、例年にない傾向でした。シラバスの内容が受講生達の関心を高めることができたのではないかと評価しています。授業実施にあたっては、本科目は遠隔授業科目ではありましたが、実践的な内容は対面授業で行いました。遠隔授業であってもできるだけ具体的にわかるようにデモンストレーションを多く取り入れたり、事例を多く提示したり、馴染みのない領域であるため受講生の理解を促すよう試行錯誤しながら授業準備をしていきました。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された					達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	本科目が最終学年最終学期であること、選択科目であることから、受講生の科目に対する学習姿勢は非常に良好でした。遠隔授業でしたが、どの受講生も真剣に取り組んでおり、対面での演習も興味を持って望んでいました。そのため、成績評価も秀64.9%・優18.9%・良13.5%であり、非常によく学んでくれたと手応えを感じています。受講生側からの授業アンケート「2 到達度自己評価」においても（1）自分なりの目標を達成した（平均値4.3 中央値4.0）、（2）知識を確認修正したり新たに得ることができた・（4）自分が学ぼうとしている専門分野のさまざまな課題を検討する力を得ることができた・（9）職業倫理や行動規範についてまなぶことができた（平均値4.5 中央値5.0）が高値で回答されていた。特に、家庭訪問での居宅訪問型保育の内容であるため、（9）職業倫理や行動規範については十分に学んでほしい内容であると考えていたため、受講生のアンケート結果と合致したことは、本科目を受講生が十分に習得してくれたと評価できると考えています。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	授業評価アンケート「2 到達度自己評価」において高値の項目を見る限り、DPは妥当であると分析できます。今期のアンケート結果には「(9) 職業倫理や行動規範について学ぶことができた」も自己評価が高かったことから、本科目は「DP4」も十分に習得できる科目であると新たな気付きを得ることができました。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	今期は、遠隔授業で実施し、一部対面でも演習を取り入れました。対面での演習が限られた回数しか実施できなかったため、内容的に詰め込んだ傾向がありましたが、次年度は、全面対面授業での開講となるため、十分に実技指導もできると安心しています。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	制限された環境での学びでしたが、受講生達の授業評価アンケートを見る限り十分に学んでくれたのではないだろうかと評価しています。引き続き受講生が関心を高く持って受講できる授業内容になるように工夫を重ねていきたいと考えています。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こどものうたあそび	1	後期	選択	いいえ	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	コロナ禍のため、集団で大きな声を出して歌うことが制限されるので、リモートにふさわしい内容を折込み、毎回授業内容を見直ししながら講義を進めた。 保育現場では、毎日接する担任の先生が優しい落ち着いた声で歌うことで子どもとの信頼関係を作り、子どもの感性を刺激し、表現を促し、他者と感情を共有する経験を作る。保育所や幼稚園では季節や行事などの幼児歌曲を声を合わせて歌う。その時には声だけでなく、体を使った自然な動作がついたり身体の心地よい動きを誘発したりする。うたあそびは、そのように音楽と園生活が密接に結びついているので、学生にはその時々にはふさわしい歌唱教材を選ぶ力をつけて幼児の成長に欠かせない「うたあそび」の楽しさを伝えるように願って講義を進めた。ただし、「うたあそび」を複数の人数で他の人とのかわりを持ちながら、楽しさを共有し、役割を担い、社会性を養うという面から考えると、コロナ禍では手をつないだり、わらべ歌で体を触れあうあそびなどの実体験ができず、保育者を目指す学生には、もどかしい思いを持たせてしまったのではないかと、教員自身も迷いがあつた。ただそうした中でも、豊富なレパートリーを持ちそのレパートリーの中から歌の魅力を子どもにしっかり伝えられるうたあそびの力を養う重要性を十分説明し、お互いを聞き合い、見せ合い楽しみ合う機会をできる限り設けた。リモートの環境を生かし、はっきりした発音で、家庭で心置きなく歌うことを推奨した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された					やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	①到達度自己評価の「自分なりの目標を達成した」の項目で「かなりそう思う」「わりにそう思う」を合わせて76%だったのは、自由記述にもあるように「すぐたくさんさんの歌が学べた」「曲の成り立ちが学べてよかった」など、子どもの歌をたくさん自ら進んで歌う様子がうかがわれた。リモートの欠点は、保育科教員の共通した感想でもあるが、声量が乏しくなりがちであるということで、それは歌う声の大きさにも如実に表れている。自分の歌声を録音して聞いてみるという過程を経て、改めて自分の声に向き合ってほしいと講義の中で伝えた。歌うことに自信のない人も、自宅でならしっかり歌えて練習ができたようだ。対面授業ではお互いを認めあう、よい雰囲気の中で学ぶことができるし、聞きやすい落ち着いた歌声や、歌いやすいピアノ伴奏をその場で聞くことができるという利点があるので、両者を生かせる授業が実現できないかと試行錯誤している。 ②授業評価の（4）「話し合う、発表するなどの学生が参加する機会がつくられていた」という項目で「まあそうだと思う」「わりにそうだと思う」「かなりそうだと思う」と答えた学生が47人中46人で、この点を教員としては案じていたので、不安が払拭された。しかし、そうでないという回答の一人の学生のことが気にかかる。どのような場面でそう感じたのかを授業残体を振り返って考えたい。 ③学生どうして次にバトンを渡すような形式をとって、発表者をつなげていく方法は、和やかな雰囲気を生み、好ましい授業になった。授業の進め方は適正であったと考える。 ④視覚教材を使った歌あそびの課題発表では、ネット上のものを参考にするために類似の作品が出てしまい、現代の盲点も垣間見た。これだけ情報が手軽に手に入る環境だが、真に良いもの、正しいもの、適切なものを見極める難しさを感じる。活字の信頼性については引き続き伝えていく所存である。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価

DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。	本講座はDP、CPの位置づけから、課題曲の選曲、授業の進め方の両面において検証して妥当であったと考えられる。なぜなら「うたあそび」とは、身体の動きとルールを伴う歌であり、「幼児歌曲」は、こどもにとって「聴いたり歌ったりすること」そのもの楽しいもので、まさに遊びと言葉と音楽とを切り離すことができない一体化したものであるといえるからである。幼児歌曲とあそびの要素を内包したものが「うたあそび」なので、この視点から本講義はDP、CPの位置づけが妥当であったと考えられる。自由記述の学習量の評価で、歌の動画を見た、ピアノで自分の歌の音程を正確にしていた、気になった曲はもう一度調べて練習した、わからない曲は調べた、など77%以上の学生が授業後の復習に取り組んだ。歌の振り返りをしていない学生の理由は「他の授業でも課題が多く時間が無いから」という記述があり、教員間で申し合わせも必要なのかと考えた。歌の背景を調べて、そのうたを歌うという取り組みは学生にとっても新鮮であったようだが、時間が足りないという理由で取り組まない学生もいて、啓発の不足を痛感した。「図書」という観点から楽譜は消耗品で図書館で購入できないということなので、歌の本や器楽合奏、その他の「楽譜」を学生が手にすることができないのだが、例えば音楽大学のようなところや保育科のある東京の大学などには楽譜がそろっているので、この点は本学では改善していくことはできないだろうか。
--	--

6. 授業の進め方とその向上について

授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。	勉強した曲の復習は、積極的に子どもの歌を歌い、レパートリーを蓄積していくために必要なことであることを授業の折々で伝え続けた。保育園・幼稚園の現場での力になる。歌いながら手や指先、からだを動かしてあそぶ「うたあそび」は、リズムにのってあそぶことが人間関係を深めていくエネルギーになる。また園生活において保育者が「うたあそび」を積極的に取り入れ、子どもたちに歌いかけ、スキンシップをし、ふれあいながら遊ぶことが集団の遊びにつながる。保育者や友達と一緒にリズムに乗って軽快に動く遊びの中から子どもの「協調性」や「感性」が育つ。授業の中で伴奏を弾くことに關して、最初はためらいの多かった学生も、回を重ねるごとに自信をつけたり、互いに励ましあったり、良い点を認め合ったりしていた。「はじまりとわりのうたあそび」「指や手の動きを楽しむうたあそび」「体の動きを楽しむうたあそび」「行事や生活のうたあそび」「集団で楽しむうたあそび」などテーマを絞って提示した。授業の質の評価では、「評価基準は明らかであった」を「まあまあそう思う」「わりにそう思う」「かなりそう思う」を合わせると95%であった。学生が実習などで保育者として子どもたちと一緒にうたあそびをしていくときには、いつでも相談に乗れるように支援していきたい。
--	---

7. 総括的評価と来年度に向けての課題

達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	コロナ禍で、実際の空間で大きな声で歌を歌うことができない状況が続き、保育の場面では苦しい状況を強いられているが、学生は努めて明るくはつきりした歌声で歌おうと努め、たくさんの子どもの歌を学んでいこうとしていた。同じ歌でも子どもの発達段階を考慮して様々な扱い方があることを学び、歌を使ってさらに楽しい活動へと発展させる方法を考えることができるように授業を展開した。こどもの興味・関心・心身の発達に応じた「視覚支援教材」を作って、うたあそび可能性を追求した。この教材を、学生が実際に市内の保育現場での実習で使っているのを知り、大変良い課題になったと感じた。自由記述で「カメラオフでもいい、と言いながら、途中でカメラを付けてくださいというのはいかがなものか」というのがあったが、リモートの教材発表で、やはり自分の順番の時だけでもカメラオンにして見せてほしいと考えたが、説明が不十分であった。もちろん課題の提出はクラスルームを使っているので、成績に矛盾は生じていない。リモート授業の難しい点は、受信はしているものの席を外していることをカメラの力を借りずに指摘することは難しく、学生の心構えに頼る面が大きいので、今後の課題である。
------------------------	---

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こどものためのピアノⅡ	1	後期	選択	いいえ	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園教諭免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。 前学期に開講した「こどものためのピアノⅠ」から継続して段階的に演奏技能を習得していく科目であるため、本科目で前期に習得したピアノ演奏技能の習得が深まるよう、前期終了時に自主課題を提示することで夏季休暇中に予習復習ができるよう促した。 個々のレベルに応じてピアノの演奏技能を習得していく科目のため個人レッスンの形態をとっている。非常勤助手の教員5名を含め計6名の教員が本科目を担当しているが、非常勤助手5名のもとでグループをつくり個人レッスンを行い、科目担当者の方では全学生の進捗を把握するためにローテーションの体制をとることで、発表の場を設けるだけでなく、学生からの質問の機会を設けている。 また、グループの偏りがでないよう、入学前までの学生のこれまでの音楽経験や、前期で履修した「こどものためのピアノⅠ」での課題の進捗状況をもとに、グループ内の個々のレベルを均等に分け、どの学生も公平にレッスンが受けられるよう配慮している。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	どちらともいえない					やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は67.9点であった。（S-4人、A-8人、B-13人、C-0人、D-23人）本科目は保育において必要なピアノの演奏技能を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等の経験の異なりや、前期で履修した「こどものためのピアノⅠ」において習得した課題に応じて、学生によって本科目での目標の達成にばらつきが生じている。そのため、「到達度自己評価」の全般的評価の平均値は3.9であるが、DP5技能・表現における「自分が学ぼうとしている専門分野について、必要となる技術を身につけることができた」の平均値は4.4とあり、保育者として必要な演奏技能を身につけるために個々のペースで取り組んでおり、技能表現に関する目標についてはやや達成されたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	科目は「専門科目」における「保育の表現技術」に位置付けられており、幼稚園教諭免許（選択）、保育士資格（選択）の科目である。そのため、学生の受講意欲も比較的高い。 DPに関しても「到達度自己評価」の「技能表現」において、9割以上の学生が「まあまあそうだと思う」以上を回答している。 また、自由記述において「授業の課題以外に具体的に取り組んだ練習」の欄に「自分の興味のある曲を弾いた」「課題以外にも多くのページを沢山弾いた」「課題以外の曲の練習」等、授業で習得したものを活かして意欲的に取り組む様子がみられた。 以上のことにより、内容的妥当性に問題ないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示ください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	ローテーションの形態をとることにより、学生が発言しやすい場を設け、学生の進捗を把握し各担当教員との連携を図れるよう心掛けた。 その際に少人数での発表の場を設けることにより、弾くことを通して技能の向上や課題に対する意識を高めるだけでなく、他者の演奏を聴き、客観的な視点から保育現場での演奏について考え、音楽を他者と共有することで気付きを得る時間となるよう進めた。 昨年度改善点に上げた「授業の質の評価」において（４）（５）の項目では、1名以外のほぼ全員が「まあまあそうだと思う」を回答しており、自由記述においても「いつも前向きな声掛けがありすぐやる気が湧いた」とあったことから、昨年度からの改善がみられると考える。しかし一方で、自由記述において「実技試験のやり方がいやだ。ローテーションが精神的に苦痛」という回答もあったことから、人前で弾くことが苦手な学生に対して、現場に出た際に必要であることを丁寧に説明し理解させ、学生がモチベーションを保ちながら意欲的に受講することができるよう心がけていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	学生の授業への取り組み状況や、自己評価の技能・表現における結果から、概ね授業の目標は達成できたと考える。 次年度では上記の授業の進め方を改善することで、学生がより意欲的に学ぶことができるよう授業環境を整えていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	山路 麻佳

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こどものうたと伴奏法Ⅱ	2	後期	選択	いいえ	37

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は免許・資格の取得に必要な科目であるため、幼稚園免許、保育士資格いずれかの取得を望む学生が受講している。 前学期と同様に個々のレベルに応じてピアノの技術を習得していく科目のため個人レッスンの体制をとっている。非常勤助手の教員4名を含め計5名の教員が本科目を担当しているが、非常勤助手4名のもとグループをつくり個人レッスンを行い、科目担当者の方では全学生の進捗を把握するためにローテーションの体制をとることで、発表の場を設けるだけでなく、学生からの質問の機会を設けている。 また、グループで偏りがでないよう、入学前の学生のこれまでの音楽経験や1年次開講「こどものためのピアノⅠ・Ⅱ」2年次前期開講「こどものうたと伴奏法Ⅰ」での課題の進捗状況をもとにグループ内のレベルを均等に分け、どの学生も同じ環境でレッスンが受けられるよう配慮している。 就職試験でピアノの実技が控えている学生には、必要に応じて授業内でも対応し、課題内容については学生が保育現場で活用できるよう、学生の進捗に合わせて簡易伴奏にアレンジする方法を教授した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された					やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は76.3点であった。（S-3人、A-11人、B-11人、C-7人、D-1人）本科目は保育において必要なピアノ演奏技能を習得するための科目であるが、学生によってこれまでにピアノを習ったことがある等経験が異なることにより、学生によって目標の達成にばらつきが生じている。 授業評価では、「全般的評価」が平均4.5となっており、また「到達度自己評価」における「自分が学ぼうとしている専門分野で必要となる技術を身につけることができた」についても平均4.5とあることから、概ね本科目の教育目標がやや達成されたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は、「専門科目」における「保育の表現技術」に位置づけられており、1年次開講の「こどものためのピアノⅠⅡ」、2年次開講「こどものうたと伴奏法ⅠⅡ」の計4単位のうち2単位は幼稚園教諭免許取得に必要な科目である。また、各自の実習先から提示されるピアノの課題曲や就職試験を受ける際のピアノ演奏課題への対策など、学生一人ひとりに応じた指導体制をとっている。 自由記述においても授業の課題以外に「空いた時間に積極的に取り組んだ」「様々な曲を弾いた」などがあげられており、学生の受講意欲も比較的高いと考えられる。 「到達度自己評価」の「技能表現」においても、9割の学生が「わりにそうだと思う」以上を回答しており、内容的には妥当であったと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	ローテーションの形態をとることにより、学生が発言しやすい場を設け、学生の進捗を把握し各担当教員との連携を図れるよう心掛けている。その際に少人数での発表の場を設けることにより、弾くことを通して技能の習得や課題に対する意識を高めるだけでなく、他者の演奏を聴き、客観的な視点から保育現場での演奏について考え気付きを得る時間となるよう進めた。 自由記述においても、「人前で演奏する貴重な経験ができ、少しずつ緊張になれることができた。」「他の友だちに演奏を聴いてもらったり授業ならではの体験ができた」とあげられており、保育現場に出てから必要となる他者と音楽を共有する時間を個人レッスンとは別に設けることができ、学生のスキルアップに繋がったと考える。これにより「授業の質の評価」において(4)(5)の項目ではほとんどの学生が「まあまあそうだと思う」以上の回答がみられた。 一方で、試験の形態をレベル毎にグループ分けしてほしい(上手な人の後は精神的にきつい)という自由記述が1つみられた。就職試験や現場に出ると他者の前で演奏することが求められるという点から全体での試験を行っている。その意図はオリエンテーションで学生へ説明しているが、試験前にもその意図を再度伝えることで現場に出た時に必要であることを改めて理解させる他、人前で弾くことが苦手な学生のモチベーションを保たせるためにも現在学籍番号順に演奏している順番を、レベル順にする等の工夫をすることで全体での試験形態は保ちながら実施することも検討していきたい。 また、学生によって曲の難易度のばらつきがあることが自由記述にあがった。学生が現場に出た際に活用できるよう各自のレベルに合わせて楽譜を簡易にアレンジしていくことができるよう学生に合わせた指導しており、オリエンテーションで説明はしているが改めてその意図を学生が理解できるよう明確に伝えていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組み状況から、概ね授業の目標は達成できたと考える。 次年度では上記の授業の進め方を改善することで、学生がより意欲的に学ぶことができるよう授業環境を整えていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	平 寛

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こどもの造形あそび	1	後期	選択	いいえ	48

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	×	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	○受講動機をみると「必修科目である」66.7%、「資格に必要である」が88.3%と2つにあまり数値に差が無いが、「関心のある内容である」27.8%と少し低い結果となった。これからも出来るだけ具体的な事例を挙げ、造形表現に関心を引き付けるよう改善していきたい。 ○コロナ禍での授業だったが、適切な課題制作の量質だったと思う。課題制作の利便性を考慮した授業内容だったが、少数の学生が負担と感じているようだった。もっと、細やかな説明や個別に質問等を出来る時間を準備しなくてはならない。また、使用する材料、制作期間等の調整。 ○造形表現は個人差が大きい為、制作期間の時間的配分、造形室ではない環境下での作品制作の材料準備等、これからももっと考慮していきたい。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された					やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均値は、A Bクラス83.9点、C Dクラス82.6点であり、概ねの学生が標準レベルを達成できたが、目標点に達成できない学生が数人いた。コロナ禍での感染対策をおこなった対面授業ができ、学生達も概ね授業内容を理解して授業に臨んでいた。今年の「到達度の自己評価」では、概ね中央値を越す事ができた。これからも、学生達の理解や習熟度を上げるための努力をおこなっていききたい。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	①CP、カリキュラムマップの位置づけからみでの内容的妥当性 本科目は「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」における領域「表現（造形・絵画表現）」に基づき、造形表現の楽しさや面白さを体得できるよう造形実技演習、教材研究をおこなう科目であり、選択科目である。「自由記述の意見」にあった材料等の準備の大変さや作品づくりの大変さ等の学生の意見は考慮に値するが、一定の学生は十分目標値を達成している為、内容的には妥当だと考える。 ②DP、技能・表現の目標からみでの内容的妥当性 一定の学生の制作に対する姿勢や課題作品の質等を鑑み、内容的には妥当だと考える。 ③まとめ 以上から、内容的妥当性には問題ないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	一昨年の授業の評価において「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が設けられていた」の平均が少し低かったが、昨年、今年と授業の質の評価は、全て中央値を超えた。対面授業では、学生がもっと意見が言える時間をつくるべく心掛けていきたい。作品の相互鑑賞等で他の学生の作品を評価し合う場を設けたが、自分の作品に対する意見感想の場をもっとつっていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	本科目は「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」における領域「表現（造形・絵画表現）」に基づき、造形表現の楽しさや面白さを体得できるよう造形実技演習、教材研究をおこなう科目である。Web授業でも対面授業でも、もっと積極的に自分の意見の交換や発表等、取り入れていきたい。また、学生達が負担と考えていた授業内容等、対面授業では丁寧に説明し、なぜこれをおこなう事が必要なのか等、事例を挙げながら授業を進めていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こどもの文学と物語	2	後期	選択	はい	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	×	×	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本来は児童文学が名称変更されたものであるが、現代の管理社会や教育環境の中で、自分のアイデンティティを確認するためには、何か架空の世界、文学というものが非常に重要な意味をもってくる。そういったときに絵本や児童文学には人間が生きていくための原動力となる探求心や想像力、感動する心を育てるエキスを満ちた児童文化を基軸に据えて、文学を通して、児童文化が幼少期からの内的世界でどのような形で発展していくか、もう一度自分の生きてきた道をフィードバックすることにより、将来の保育職に就くために求められる大切な知識、意義を理解させるべく、基礎能力を養うことに力を注いだ。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された	やや達成された				
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	流れとしては、毎年同じ感じにはなるが、終盤辺りで学生の理解度が増し、実習体験をも併せて重ね考えることが出来ている様に思われる。今年は80%ぐらいであるが、この科目の内容が自身の課題とオーバーラップしたものと思われる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけから見た内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	カリキュラムマップ等々における本科目の位置づけから見た内容的妥当性については、良かったと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	昨年の反省として今年度はグルーブトークの回数を増やすことを掲げていたが、今年度はコロナ禍のため思うようには実現できなかった点が心残りである。がしかし、そこにとどまることなく創意工夫してすべての学生がしっかり理解することを見届けたいと思う。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	全ての学生が最終講義までには達成できるように努力したい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	末成 妙子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
保育総合表現	2	後期	選択	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本来この講座は保育科の卒業に際しての総まとめという位置づけがあったが、昨年度はコロナ禍ということで舞台上の発表がかなわず、ブックレットの作成ということになった。そのことが影響してか、本年度は受講者が少なく開講自体が危ぶまれる事態であった。最終的には教員の働きかけで何とか6人の受講生が集まり、教員5人と学生6人という形で始まった。ただし、本当に表現をしたいという熱意のある学生が集まったおかげで脚本作成、舞台での演技、衣装・舞台装置作り、効果音の練習など、大変充実した流れの中で、作品が仕上がっていった。感染拡大の影響で本番1週間前にシオン山幼稚園をマロリーホールにお呼びして舞台を楽しんでいただくという企画は実現できなかったが、リハーサルの動画をお渡しするという形で、本講座のまとめとした。到達度自己評価の10項目のすべてが「わりにそう思う」「かなりそう思う」が半数ずつで、学生自身は満足のいく学習効果を得られたと思う。協働作業の体験がとても貴重で、最終的に良い作品が体现できたという自由記述があり、コロナ禍でありながら、総合表現という授業の大切さを伝えることができたと思う。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された				達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	①DP4「様々な課題を検討する力を得た」が「かなりそう思う」が50%、DP5「的確に判断する力を得ることができた」も「かなりそう思う」が50%で、コロナ禍ということもあり、授業以外の時間でもグループで集まって話し合うことの必要性が出てきて仕上げに向かって大変だったと察せられるが、よく連絡を取り合って工夫して頑張ったと考えられる。お互い、遠慮がちな関係から、劇作りを通してその関係を模索するうちに、終盤は「だれも手を抜く人がいなかった。」という感想がでて、非常に活発な意見交換がなされていた。 ②マロリーホールの熱い舞台を映像で見て、本番が実演不能になったときには不満な気持ちが隠せなかったと思うが、それでも自由記述には協力して制作した楽しさに、感謝の気持ちを表す言葉が表れていて、受講した学生は皆各々に充実感を持てたと考えられる。 ③トータルの成績は全員大変高い数値であった。担当教員の合議で決定したことで公平性は担保されている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	コロナ禍ということで、舞台活動そのものが世の中から消えてしまったように見えたが、保育に携わる者たちは様々な形で表現のための学びを蓄積し続けていかなくってはならないことを伝えた。いかなる状況下でも学生は協力して行うことの大切さを学んでほしいと伝えた。たとえ本番がかなわなくても表現する充実感を味わうことができたのではないかと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の進め方は5人の担当教員が密に連絡を取り合いそれぞれの担当部署の進捗状況を把握しながら的確なアドバイスを行った。大道具、小道具、衣装、音楽、幕間のつなぎ、など様々な場面へ想像力を働かせて行動していた。振り返りシートは特に書かなかったが、互いの意見を対面でしっかり述べ合うことができて大変良かったと思う。図書館の本、データベース、インターネットの利用も半数以上の学生が積極的に行い、パソコンで自由にポスターを作り上げる技術を駆使して、現場に出てからの力になると確信した。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	演技者は大道具、小道具、衣装作り、音響も兼ねながら、一人何役もこなさなければ実現できない舞台を、本当に見事に知恵を絞りだし合いながら実現したと思う。学内で行う利点は、リハーサルと本番が同じステージでできること、会場費を削減できること、幼稚園の学外行事として組み込んでいただけるので「集客」という、最も難しい問題をクリアできることだと考える。コロナの状況は厳しいものがあるが、今後もしできる範囲で改善しながら次年度に向けて考えていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は保育科の必修科目である。一年を通して、他者と協働する力や短大生としての基礎的能力を高められるように授業を展開している。比較的ゼミごとに活動する機会が多かったため、保育に関連するさまざまな活動を取り入れることができた。具体的には喜久屋書店の看板作成や、おはなし会に向けての準備、カブラの体験、万華鏡製作、ブックトークなどである。学内えほんのへやでのおはなし会では、子どもたちの前で実践を行うことができた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された				達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な評価は平均98.0点（最高点99点）である。全員がA評価であり、目標はほぼ達成されたと考えられる。「到達度自己評価」では、平均値が3.5～5.0の間であり例年よりも高い評価となった。課題解決に向けての力や学びへの意欲、は平均点が5.0点であり、学生自身がゼミを通して学びを深め意欲的に取り組んできたことがわかる。今後、ゼミのあり方をさらに工夫することによって、さらに内容を深化できるのではないかと考えられる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は各科目で学んだことを意識しながら、保育に関する学びを深められるよう配置された科目である。「受講動機」に関しては必修科目であるためであるが、「到達度の自己評価」をみると、学生は各取り組みの中で求められていることを理解しながら課題を達成できたのではないだろうか。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業では、壁面看板の作成やコミュニケーションワークなど、学生同士が協同しながら進められる内容とした。そのため、ゼミ長・副ゼミ長を中心に取組が進められ、それに伴いゼミ生同士の学びあいも深められたようであった。授業の質評価は4.2～4.4であり、例年と同程度であった。次年度はより学生が相互に意見を出し合えるような働きかけをしていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標が達成できたと考えられる。「評価」については、適切な範囲で学生が意識できるように説明し、次年度も学生自身が考え、主体的に参加できる授業になるように心掛けていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	学生の受講動機は、必修科目だから履修している学生がほとんどであり、1年生を少人数グループに分け、アドバイザー制度とリンクしながら、学生生活や学習態度についても指導することが授業の目的である。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された				やや達成された	やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	学生の到達度の自己評価は概ね高い。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	専門科目への導入科目であり、初年次教育の位置づけである。授業内容は学科で検討されており、妥当な内容であるといえる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	新入生研修が実施できなかったこともあり、前期の活動では学生同士のコミュニケーションが充実するように配慮した。また、個別面談なども取り入れ、知識を伝えることだけでなく、授業の中でアドバイザーとしての役割を果たせるように工夫した。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	授業内容は妥当であり、学生の達成状況も充分であるといえる。今年度は、10名以下での受講であったため、より細やかな指導やフットワークの良い活動が出来たと考えている。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	笠 修彰

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は、子どもや保育に対する理解を体験を通して深め、将来の保育者としての実践力を身に付けることを目的としている。保育者に必要とされる基本的な力を養うため、丁寧な個別対応を心掛けた。また、学生が主体的に考え行動できるよう意識的な働きかけを行った。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された				やや達成された	やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績評価として、全ての受講生がA評価であった。 学生による授業評価をみると、「学習達成度の自己評価」「授業の質的評価」の全項目で「まあまあそうだと思う」以上の肯定的評価を得た。しかし、「学習量の評価」において授業準備性の低さがみられた。 以上のことから、目標はやや達成されたと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は、「専門教育科目」における「総合演習」であり、保育者に求められる基本的な力を養ううえで基底に位置づけられた必修である。 DPに関して、「到達度自己評価」における態度および「技能表現」を示す項目で、全ての回答者が「かなりそうだと思う」以上の肯定的評価をしている。 以上から、内容的妥当性に問題はないと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	今年度は、学生主体で半期ごとの活動計画を立て、計画的なゼミ活動に努めたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から予定していた活動をせざるを得ない事態もあった。その一方で、対面で授業を実施できたことから、学生同志の直接的な交流を通じたコミュニケーション力、表現力の向上をねらった活動を展開することができたのではないかと考える。また、授業においては、学生が発言しやすい環境づくりや個別的なサポートなどを行い、学生が主体的に取り組むことができるよう支援した。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の評価結果から、本科目の学習目標は全体的にはやや達成できたと考える。本科目は保育者として必要とされる基本的な力を養うことに主眼をおり、学生個々の主体性、自律性を高めることは重要な課題である。今後も、学生個々がこのような力を育むことができるよう、改善策を講じていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども学基礎演習	1	通年	必修	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	・実務家教員としての経験を生かしながら、保育の仕事に興味関心を深めるとともに学生生活も充実させることができるように留意し、学生の主体的な活動が実践できるようにサポートしていった。 ・ほとんどの学生が保育の現場で勤務することを想定し、昨年度の改善点を反映させながら実習や就職した現場で役立つ内容を学生に選択肢として投げかけ、それを参考に学生が自主的にゼミ活動の実践計画を立てるように指導した。 ・また学生それぞれが自己を適切に表現して活動に参加できるように留意した。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された				やや達成された	やや達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	・全体を通しては、おはなし発表会等の企画に取り組み、学生同士で協力しながら企画、準備、実践を行うことで多くの学びがあったと思われ、有意義な活動になったようだ。 ・また活動を通して学生同士の交流もでき、お互いに助け合う関係が構築できたようである。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、学生が希望した活動が制限され、計画の変更を余儀なくされることが多かった。自分たちで立てた計画が順調に進まないことから意欲が減退してお互いに遠慮して積極的な意見が出ないことが多く、教員のサポートが必要であった。 ・お互いに意見を積極的に出せず、色々な意見を出し合って調整していく作業が難しかった。そのために教員が主導する形になることが多く、学生の主体性を十分に伸ばすことが難しかった					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	・本科目は、専門科目の「総合演習」の科目で、他の科目で知識や技能を学んだものをもとに、学生相互で協力しながら演習を行う授業であり、必修科目である。学生が主体的に行動に出るまで苦慮する面はあるが、保育者を目指すものとして得た知識や技能を生かし、協働しながら活動ができています。内容的には妥当であると考えます。 ・行動目標からみても内容的妥当性として、活動が順調に進まない時期の意欲の減退があったが、教員のサポートにより実践していく中で、学生の主体的な学びが大切であることは伝わったと思われる。よって、内容的妥当性に問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方法を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	・昨年度同様に、学生の自主性や主体性を尊重しながらのサポートを心掛けた。新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限されたり、計画が順調に進められなかったりしたことにより意欲が下がる時期があったが、「共に活動することができて、チームワークが高まり楽しかった」と学生の感想があり、最終的に学生相互で協力しながら活動を行うことができたと思われる。 ・しかし、教員が主体となって意見を引き出すことが多く、学生の自発的・自主的な活動としては、十分とは言えない部分があった。学生の主体的活動を引き出すための具体的な工夫が必要である。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	・学生の達成度自己評価とトータルの成績より、概ね授業の目的は達成されたと思われる。これまでの経験を踏まえて遠隔授業であっても内容を工夫し、失敗や挫折も次の経験に活かせるように、学生の意見を引き出して主体的な学びを促す授業を心掛けたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	末 崙 雅美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	学生と常に話し合いをした上で、毎回の授業の内容を決定していた。授業計画の段階では、学外での学習を積極的に取り入れ、保育現場での園外保育に役立つよう環境ミュージアムと到津の森動物園に行き指導員や専門家の指導を受ける機会も得られるようにしていた。加えて、できるだけ体験学習を多く取り入れるよう配慮した。前年はほとんどを遠隔授業で過ごしキャンパスライフを十分に経験できていなかった学生たちだったため、対面授業ができる間は様々な体験を通して学生生活が満喫できるよう工夫した。布染めやバスボムづくりなど身近な科学遊びや自然物を活用した工作など直接保育現場で活かせる体験学習を積極的に取り入れ、またアレンジ鬼ごっこなどレクリエーション的な活動も多く行うようにした。遠隔授業となった期間も、学生同士の親睦を深められるようリモートでのコミュニケーションワークを多用し、ゼミの時間を楽しめるように心がけた。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された				やや達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	例年であれば、保育の実践力強化に直接繋がる活動を多く行うようにしているが、学生の状況を鑑みて、今年度は特に「残りの学生生活を前向きに楽しめるように」ということに主軸を置いてゼミ活動を行った。そのため、保育のモチベーションを向上させることより、ゼミ内での懇親やコミュニケーションを深めることが多く、それが学生の自己評価にも表れていると考える。 授業の運営では、学生から意見をきちんと聞くことを尊重した。保育の実践力向上に直接つながる活動は多くは無かったが、学生個人からは「ゼミ活動がゆったりしていて良かった」という声も聞かれた。体験学習を行った時には、できるだけSNSで活動を紹介するようにしていたが、学生にとってはそれも楽しみになっていたと思われる。コロナ禍という状況において、体験学習を行うには様々な制限があったが、緊張感無く自分たちがやりたい活動ができる授業があることは、アンケートには表れない部分での意義があったと考える。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門教育科目」の「総合演習」に位置付いている。少人数の単位で、仲間意識を高めながら教員の指導の下で活動内容を企画し実施する内容であり、また保育者としての専門性も求められるため、内容は妥当であると考えられる。またDPに関しても、一年次に引き続いてより専門的な内容で体験できる機会が多くなり、DPについても妥当であるとする。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単に示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお願いします。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	保育の実践力に直接繋がる活動が少なかったため、保育に関わる活動を増やしていく。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお願いします。	22年度はDPの達成度が向上するよう、また学生生活の満足度も高められるよう工夫を行う。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	8

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	学内外での活動を通じて、体験的に学習していくことを目標に授業を計画した。受講生は、地域でのワークショップの実施や社会的問題と保育の関連についての学習への関心を持って選択していた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	やや達成された				達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	地域での活動は中止されたものもあったが、開催されたイベントには積極的に参加した。参加したイベントでは、他大学の学生や地域住民との交流もあり、コミュニケーションスキルの上達という目標にむけて、学生それぞれが取り組むことができたと考える。目標達成についての学生の自己評価も高く、事業の目的はある程度、達成されたと考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	学内での活動では、進路のについての相談などをおこないながら、他の科目で学んだことを総合的振り返り、保育に対する意欲と関心を高める内容であった。また、学生とのディスカッションの中で社会問題に目を向け視野を広げることを支援し、保育の現状について考える場を提供できたと考えている。また、学生生活のサポートの場としても活用し、カリキュラムマップにおける本科目の位置づけとしても妥当であったと考える。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の中で話されている内容を他の講義内容とリンクするような言葉かけをしていくことにも重点をおいた。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	授業目標は概ね達成されている。学生の自己評価も十分に高い。今後は感染予防に気をつけながら実践を重ねることと、さらに他大学の学生との交流の機会を持ちながら受講生の視野を広げていく内容にしていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	戸田 由美

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	はい	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	このゼミは、ファンタジーを媒介にして幼児教育の本質を捉えることを第一義としているので、児童文学の世界を深く見極めながら行うことを忘れてはならないことが重要である。そのためにはいわゆる自然、人間、社会等々に関わる課題を考えながらそれにどう対応するかを、ファンタジーの世界にそって考察している。こういった文章にして説明するとわかりにくいことでも現在映画化されているファンタジー作品は、ものの見事にそれを映像化し、解明してくれている。したがってゼミでの座学にプラスして映画鑑賞も行う様にしている。ネガティブなものを肯定的に変化させる重要な役割がファンタジーの本質であることを学び、それを子ども世界から探し出し、答えを見つけることを主眼としている。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された				達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	かなり難しい課題に対しても一人ひとりの熱意が伝わってくるような解答をしている。意欲的に取り組み創意工夫もみられる点は高く評価したいと思っている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	カリキュラムマップ等々における本科目の位置づけから見た内容妥当性については、よかったと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方策を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	コロナ禍の中で、なかなか計画通りにいかない点多々あったが、ファンタジー解明に対する前向きな姿勢と、理解度は大変良いものであったと思う。おそらく、これからの現場での幼児教育に役立っていると思う。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	達成状況の総括的評価としては、非常に高い評価を取めることが出来ている。90%である。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	10

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は保育科の必修科目である。一年次の「こども学基礎演習」での学びを踏まえた上で、より専門的に保育の内容に特化したゼミ活動を展開したいと考えている。制限のある中での活動ではあったが、「現状で行える保育に関連する活動」をゼミ長を中心に考え、行うことができた。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された				達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な評価は平均91.9点（最高99点、最低80点）であり、目的は達成されたと考えられる。今年度は、喜久屋書店や学内えほんのへやでのおはなし会を実施するなど、子どもと直接触れ合いながらの体験を取り入れることができた。また、保育に関連する製作（Tシャツ染色やキャンドルの製作）や、学外体験（到津の森公園）などを行い、保育の引き出しを増やせるような内容を取り入れた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は保育科専門教育科目の必修でもあり、学生は保育科教員の専門性に応じて自らが選択した担当教員のゼミに配属されている。本ゼミは例年であれば保育所等を訪問し、子どもと触れ合う活動を行うが、コロナ禍の状況を鑑みて活動を展開した。保育現場でも、置かれている状況の中で最大限の活動を行っていることを踏まえてゼミを進めることはできたといえる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	学生の到達度は高い。自分たちで主体的に活動を進められた結果であると考えられる。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	他者との協同やその他の取り組み状況をみると、基本となる授業の目的はほぼ達成されたと考えられる。次年度はさらに活動の幅を広げ、研修会などへの参加等状況に合わせて積極的に取り組んでいきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	篠木 賢一

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は卒業必修科目であるので学生は全員受講している。一年次の「こども学基礎演習」での学びを踏まえた上で、学生自らが様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し解決できるように指導を行った。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された				達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	最終的な成績の平均は93.7点（S－9、A－1、C－1）である。ほとんどの学生がSを取得していることから、目標は達成されたと考えている。Sを取得した学生は、保育者として自己分析ができ卒業までの課題を発見し適切な計画を立てることができるようになっていた。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は「専門科目」における「総合演習」に位置づけられており、卒業必修科目であるため受講の意欲は高い。成績評価を見てもほとんどの学生において現段階での課題は達成されており、自己評価の達成率も4ポイントであったので、内容的には妥当であったと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	1年時のほとんどの授業がオンラインではあったため、今年度は教師からの一方的な講義にならないように、グループワークや学生が発言できるような内容で授業を行った。それにより学生が考えて発言・行動する姿が見られたが、発言する学生に偏りがみられるため、すべての学生が発言しやすい環境づくりができるように検討していきたい。また、図書館やインターネットの利用率が低かったので、積極的に利用するように促したい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組みや評価結果を見ると、授業の目的は達成されたと考えられる。学生の意見がより反映できるように個別面談を行ったが、次年度は少人数制のゼミの良さをより生かせるように丁寧な指導を行ってきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	池田 佐輪子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
こども学特別演習	2	通年	必修	いいえ	11

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	×	×	×	○	×

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	・本ゼミの説明のときに、どのような内容を実践していくのかを具体的に説明していたこともあり、学生は自分たちで実践してみたい活動案を準備して授業に参加することができていた。 ・授業の実施に当たっては、学生が主体的に活動を進めることができるように、教員は最低限度の指標を示し、見守りに徹するように努め、遠隔での活動も工夫しながらできることに取り組んだ。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された				達成された	
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	・学生が実践したい活動の希望を出し合い、意見調整をしながら実践へとつないでいくことができた。 ・新型コロナウイルス感染症の感染対策により、子どもや保護者の前での実践的な取組は少なくなったが、企画立案、実践計画、制作まで各自工夫しながら行うことができ、回数は少なかったが貴重な経験として実践力につながったと思われる。臨機応変な対応や遠隔でもできる活動を探りながら、反省を次の計画に活かすといった実践はできたと思われる。 ・学生それぞれが積極的に意見を出し合い、それをゼミ長がうまくリーダーシップを取ってまとめることができたため、活動が制限される中でも最終的には、様々な活動を通じて達成感や満足感を味わうことができたと思われる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	・学生同士の積極性の違いを感じることはあったが、それぞれが自分の持ち味を生かしながら、質の高い保育の探求や、他者との協働といった観点からは目標は達成されたと思われる。 ・よって、内容的妥当性に問題はないと思われる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	・ゼミの構成員は多かったが、ゼミ長を中心によくまとまっており、それぞれの活動で担当者を決めて、それぞれが責任をもって活動実践していくことができた。実践後の振り返りではそれぞれが評価点、改善点を明確にすることができたため、次の活動に活かすこともできていた。 ・活動を進めるために、自分たちで内容を決めて流れを組み立て、必要なものを作成して実践に臨む形ができ、学生による主体的な活動ができた。学生の満足度も高かったので、次年度もこの形で進めたいと思う。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	・開始時より、どのような活動をするのかの指標を明確にしていたこともあり、学生による主体的な活動ができたと思われる。 ・特に前期に計画していた活動が十分にできなかったが、その時でできる活動を工夫し、臨機応変に対応していく楽しさも味わうことができたと思われる。状況に応じた活動を工夫を今後も考えていきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育・教職実践演習(幼稚園)	2	後期	選択	いいえ	67

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	×	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は免許・資格取得における必須科目であり、在学時における実習を全て、また保育に関する学びの大半を終了した学生たちが受講している。本科目に至るまでに学生が経験してきた学びを活かし他の学生と共有できる講座、学生にも親しみのある卒業1年未満の卒業生を招いて新任の保育者としての心がまえを伝える講座など、実際にロールプレイを行ったり人との協働の大切さを感じられるように構成している。また、今回は保育者の実践記録を基にグループワークを行い、保育の在り方について考える講座を取り入れ、客観的な視野で保育をとらえられるよう配慮した。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

(1) 教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解 (DP1)	思考判断 (DP2)	意欲関心 (DP3)	態度 (DP4)	技能表現 (DP5)
	達成された		達成された	達成された	達成された	やや達成された
(2) 上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な評価は平均点83点（最高点97点、最低点54点、A-35.8%、B-40.3%、C-13.4%、E-7.5%）である。学生により評価にばらつきがみられるものの、半数以上の学生はAまたはBの評価であり、全体としては目標の達成に近づけたと考えられる。 また、学習量や図書館・情報の利用も通常の講義と比較すると行っている学生は多く、自ら授業に向けて積極的に取り組んでいるようである。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	本科目は免許・資格取得における必須科目であり、学生は主体的に学ぶ姿勢ができています。講座の中では授業や実習の中で獲得してきた知識や技能を十分に発揮するために事前準備や振り返りをしっかりと行っている学生も多い。その結果「学習到達度の自己評価」も概ね「まあまあそうだと思う」以上を選択されている。 以上のことより、内容的妥当性には問題はないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業はオムニバス形式でそれぞれ専門の教員が担当している。模擬保育では各クラス毎に担当教員が異なるが、事前に入念な打ち合わせを行うことはもちろん、授業実施の都度主担当との打ち合わせを行うことで全クラスの評価が統一されるよう配慮している。また、学生は模擬保育などのロールプレイにおいて、準備から実践及び与えられた役割に真摯に取り組み、お互いが高めあう関係性がみられた。昨年度の課題であったグループワークは、互いに意見を出し合う姿が見られた。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業評価及び授業への取り組み状況からは、概ね本科目の目標は達成できたと考えられる。今後もより学生が関心を持つとともに保育者としての課題を見出し解決していけるような授業を展開していきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	阿南 寿美子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断の科目か	登録された受講者数
教育実習指導	1～2	四期	選択	いいえ	75

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	本科目は幼稚園教諭免許状取得のために必要である「教育実習」と関連した科目であることを学生も理解している。そのため、免許状取得を目指す学生は全員受講している。 同実習関連科目である「保育実習指導」との関連性も考慮した上で内講座を展開しており、入学時から全実習終了まで、さらには卒業後を意識したものとなっている。特に1年次は学外実習に出ることを鑑み、中学校・高等学校で経験した体験実習とは異なる保育者としての視点を持った子どもとのかかわりができるように指導している。前期には附属幼稚園での「見学実習」で観察の仕方、記録のまとめ方、考察の仕方の基礎を学び、後期は実際に観察を中心としながらも手あそびや絵本の読み聞かせなどの部分保育、保育者としての視点を持ちながらの子どもとの関わりが持てるようになることを目指して指導している。2年次は手作り教材の発表や短時間の指導計画を立てての実践、最終の実習では全日を実習生が担当する機会をなるべく持つなど、より保育者として責任を持った実習を体験できるように指導している。授業では、これらの実習で少しでも学生が自己を発揮できるように、発表の機会や指導計画・日誌の添削、報告会実施による他者との学びの共有など、学生の学習準備性に合わせた授業計画を立てている。各実習終了時には個別の面談時間を設け、自己課題を克服できるように働きかけている。 また、欠席した学生へは理由を考慮したうえで指導し、必ず全授業内容を補完するようにしている。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差、S、A、B、C、Dの度数）、独自に設けた基準による達成度、学生の授業評価アンケートの結果など、できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、「学習到達度の自己評価」、「学習量の評価」、「学修のための情報利用」、「図書館、インターネット利用」、自由記述の意見など	最終的な評価は、平均点85.7点（最高点96点、最低点74点、A-17.8%、B-65.8%、C-8.2%）である。実習訪問や実習園からの評価表においても、概ね高い評価を受けており、実習を重ねる毎に学生の課題が克服されているようである。科目内での課題の提出や教材研究の実践を含めて教育目標は達成することができていると考えられる。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	幼稚園教諭免許状取得のための必須科目であり、実習に必要な計画を立てているため、学生の受講意欲は高いと考えられる。また、DPを達成することができる様、他の科目との連携や学習の連続性を考慮しているため、内容的妥当性については問題ないと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	授業の進め方については、全体、2クラス制、1クラス制など講座内容によって取り入れており、特に学生からの指摘はない。実習前の実践発表での指導が実習に活かされていることから、今後も学生の理解度や習熟度を鑑みたくえで、授業の進め方を組み立てていきたい。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の授業への取り組み状況及び評価結果を見ると、概ね授業の目標は達成できたと考えらえる。今後も他の関連する実習との整合性や授業の進捗状況による学生の準備性を意識した授業を展開して行けるように取り組んでいきたい。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅰ	1	通年	選択	いいえ	46

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	保育所実習Ⅰ、施設実習Ⅰを対象とした実習指導であり、1年生の通年科目である。実習に向けての事前事後指導および、保育職の多様さ、他職種との協働を含めた保育現場への心構えの育成が授業の重点課題である。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	多くの学生到達度の自己評価が高く、受講態度もまじめに取り組んでいた。実習先からの評価も十分であった。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	実習指導は、さまざまな科目により得られた知識と技術を実習で総合的に実践できるように支援するという位置づけであり、すべてのDPに関連する総合的な科目である。そのため、生活全般にわたるような自己課題の設定と振り返りなど、学生自身を見つめ直す機会となるような内容になっている。また、卒業後の進路とも直結する内容であった。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	複数の教員が担当している科目であり、教員間の連携が重要となる。また、他の実習指導担当者との連携を図る必要があり、授業外での打ち合わせの時間を確保した。受講生に対しては、実習の重要性やそれに伴う実習指導の重要性を繰り返し伝えて、受講態度の改善を図る工夫をした。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	感染症の影響で、保育所実習Ⅰを終えることができない学生もいたが、ほとんどの学生が実習を実施し、それぞれの園からの評価も概ね良好であったことから、実習指導としての目的は概ね達成できていると考えている。また、実習終了後の振り返りで、学生の学びを深めることもできていると考える。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅱ	2	通年	選択	いいえ	61

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	保育所実習Ⅱのための指導を行う科目であり、乳幼児の発達の特徴や保育士の役割の理解を深めるとともに、学生の生活技術や社会人としてのマナーなどを含めた指導と助言を行っている。実習先の多くは、保育所実習Ⅰの実習先であり、前回の実習よりもさらに充実した内容で実習できることを念頭においている。また、2年生での実習は就職活動とも関連している要素があり、将来を見据えて実習に取り組めるように指導している。
--	---

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	受講した学生のほとんどは、実習を無事に終了し、実習により児童福祉施設やそれを利用する子ども達への理解を深めていることから、教育目標を達成しているものと考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	実習と実習指導はDPの全ての項目と関連しており、学内で受講した科目の知識を総合的に活用し発揮する場である。内容的妥当性は、学生の授業評価アンケートの結果からは難しいが、実習生に対する実習園からの評価からは、おおむね妥当であったと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示してください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示ください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	保育実習指導Ⅰや保育実習指導Ⅲ、さらには教育実習指導との連携を密にし、過不足なく実習指導が行えるように、今後も内容の精査を重ねていく必要がある。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示ください。	学生の実習中の様子や事後指導での様子から実習指導における教育目標は達成できていると感じている。また、実習園からは、多くの学生が良い評価を受けている。今後もこのような質を保つことが課題といえる。

リフレクションカード 2021年度後期

学科	保育科
氏名	命婦 恭子

1. 基本情報

科目名	配当学年	前期・後期・通年の別	必修・選択の別	学科横断的科目か	登録された受講者数
保育実習指導Ⅲ	2	通年	選択	いいえ	6

2. 観点・DP上の位置

該当に○	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	○	○	○	○	○

3. 授業準備について

授業の実施にあたり大切にしていること、重点をおいたことをご記入ください。 開講時の学生の学習準備性を示し、授業計画にどう活かしたかを、「受講動機」なども参考にして記述してください。昨年度に授業の改善計画を立てた場合は、これをどう具体化したかを併せてご記入ください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」、自由記述の意見など	施設実習のための指導を行う科目であり、様々な児童福祉施設の特徴や役割の理解を深めるとともに、学生の生活技術や社会人としてのマナーなどを含めた指導と助言を行っている。また、2年生での実習は就職活動とも関連している要素があり、将来を見据えて実習に取り組めるように指導している。今年度は、一部の学生が施設実習を学内演習で代替することとなり、その受講態度の指導もあわせておこなった。
--	--

4. 学生の目標達成状況について

（1）教育目標は達成されましたか。達成された～達成されなかったのいずれかを選んでください。観点別の達成状況は、該当する場合のみご記入ください。	全体を通して	知識理解（DP1）	思考判断（DP2）	意欲関心（DP3）	態度（DP4）	技能表現（DP5）
	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された	達成された
（2）上記の評価の根拠を簡単にお示し下さい。 *根拠として、成績（トータルの成績、行動目標あるいはDP別）の平均値や分布（標準偏差，S，A，B，C，Dの度数），独自に設けた基準による達成度，学生の授業評価アンケートの結果など，できるだけ客観的なデータをお示しください。 <授業評価の指標> 「学修準備性」，「学習到達度の自己評価」，「学習量の評価」，「学修のための情報利用」，「図書館，インターネット利用」，自由記述の意見など	受講した学生のほとんどは、実習を無事に終了し、実習により児童福祉施設やそれを利用する子ども達への理解を深めていることから、教育目標を達成しているものと考えている。学内演習を受講した学生についても、まじめな態度で熱心に受講している様子がうかがえたことから、本授業での教育目標を達成していると考えている。					

5. DP, CP, カリキュラムマップ上の本科目の位置づけについての評価	
DP, CP, カリキュラムマップにおける本科目の位置づけからみた内容的妥当性の評価を記入してください。 <授業評価の指標> 「受講動機」「学習到達度の自己評価」、自由記述の意見など	実習と実習指導はDPの全ての項目と関連しており、学内で受講した科目の知識を総合的に活用し発揮する場である。内容的妥当性は、学生の授業評価アンケートの結果からは難しいが、実習生に対する実習機関からの評価を参照したところ、おおむね妥当であったと考えられる。
6. 授業の進め方とその向上について	
授業の進め方についての自己評価及び改善課題がある場合は改善方を簡単にお示しください。 また、学生からの意見については、必要に応じて、こちらに回答をお示しください。 <授業評価の指標> 「授業の質の評価」「学習量の評価」「学修のための情報利用」「図書館、インターネット利用」学生の意見など	保育実習指導Ⅰや保育実習指導Ⅱ、さらには教育実習指導との連携を密にし、過不足なく実習指導が行えるように、今後も内容の精査を重ねていく必要がある。また、感染予防対策については、適宜授業内容に取り入れていく必要がある。
7. 総括的評価と来年度に向けての課題	
達成状況の総括的評価と課題をお示しください。	学生の実習中の様子や事後指導での様子から実習指導における教育目標は達成できていると感じている。また、実習機関からは、多くの学生が良い評価を受けている。今後もこのような質を保つことが課題といえる。